

2016年(平成28年)3月期 第2四半期 決算説明資料



2015年 11月9日
株式会社 小森コーポレーション

1. 平成28年3月期第2四半期
経営概況 について (P4~P33)

代表取締役社長 持田 訓

2. 平成28年3月期第2四半期
業績および通期計画 (P35~69)

取締役管理本部長 松野 浩一

経営概況について

～第Ⅳ期中期経営計画の進捗状況～



2015年11月9日

株式会社小森コーポレーション

1. 70期上期業績および70期下期計画について
 - I. 決算概要PL
 - II. エリア別受注、売上、受注残
 - III. 営業利益
2. 当社を取り巻く事業環境
3. 第IV期中期経営計画の進捗状況
4. 70期上期の各事業における主要トピックス
5. 70期下期の重点施策

1. 70期上期業績および70期下期計画について

決算概要 P/L

(単位:億円)

		2016/3 上期実績	2015/3 上期実績	差額	前年 同期比	2016/3 上期計画	差額	計画比
受注高		517	422	95	123%	503	14	103%
売上高		433	400	32	108%	495	△62	87%
営業利益		22	22	0	99%	30	△8	72%
経常利益		28	27	1	103%	26	2	108%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		38	29	10	135%	23	15	167%
平均レート(円)	US\$	121.50	103.51	/	/	115.00	/	/
	EUR	134.60	139.07			125.00		
期末レート(円)	US\$	119.96	109.45			115.00		
	EUR	134.97	138.87			125.00		

計画

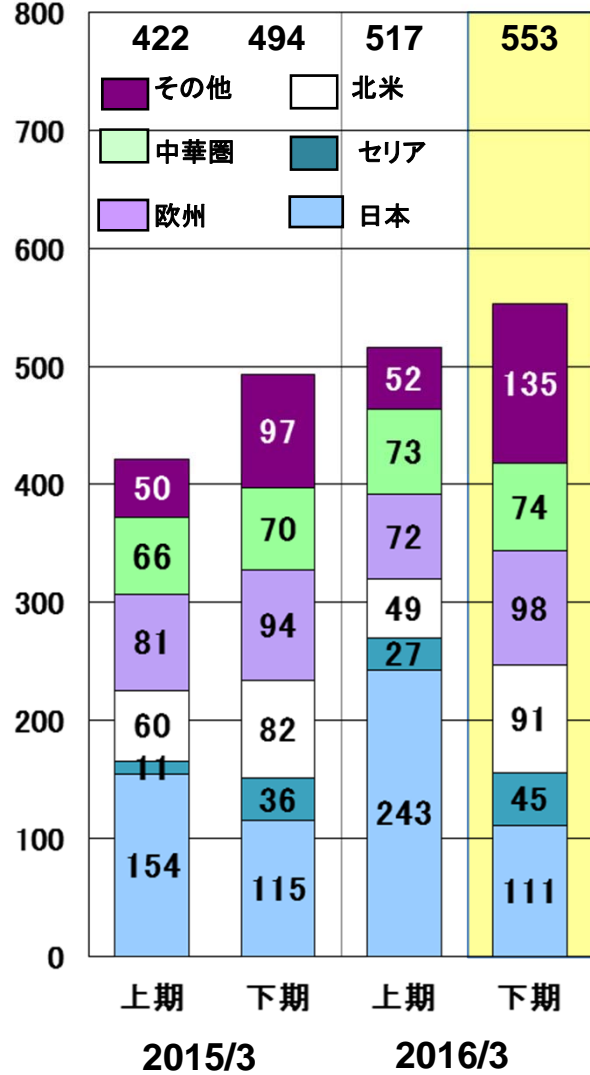
受注高

売上高

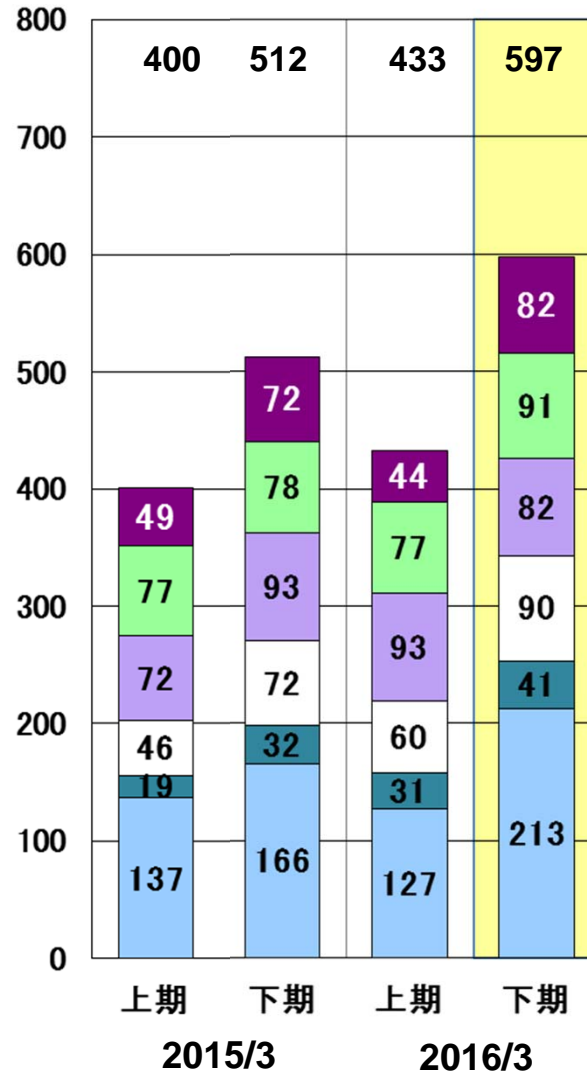
受注残

(億円)

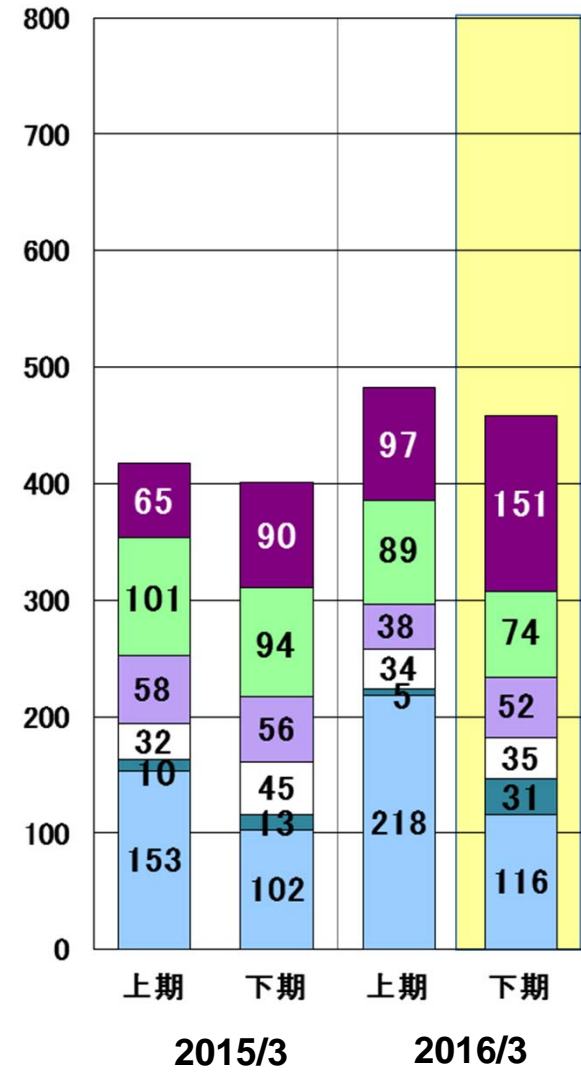
◆916 (通期) ◆E 1,070 (通期)



◆913 (通期) ◆E 1,030 (通期)

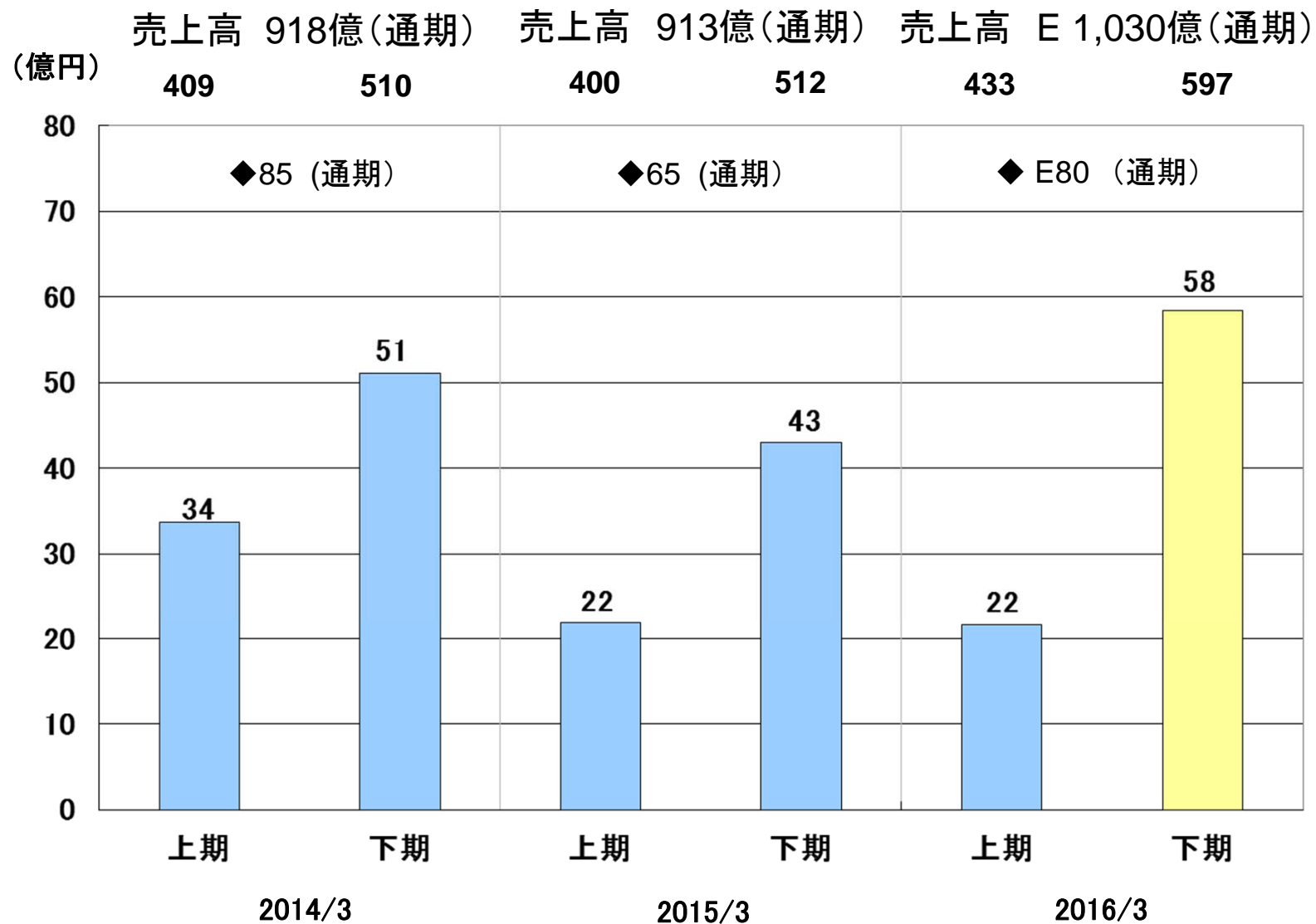


418 401 483 459



営業利益推移

計画



2. 当社を取り巻く事業環境

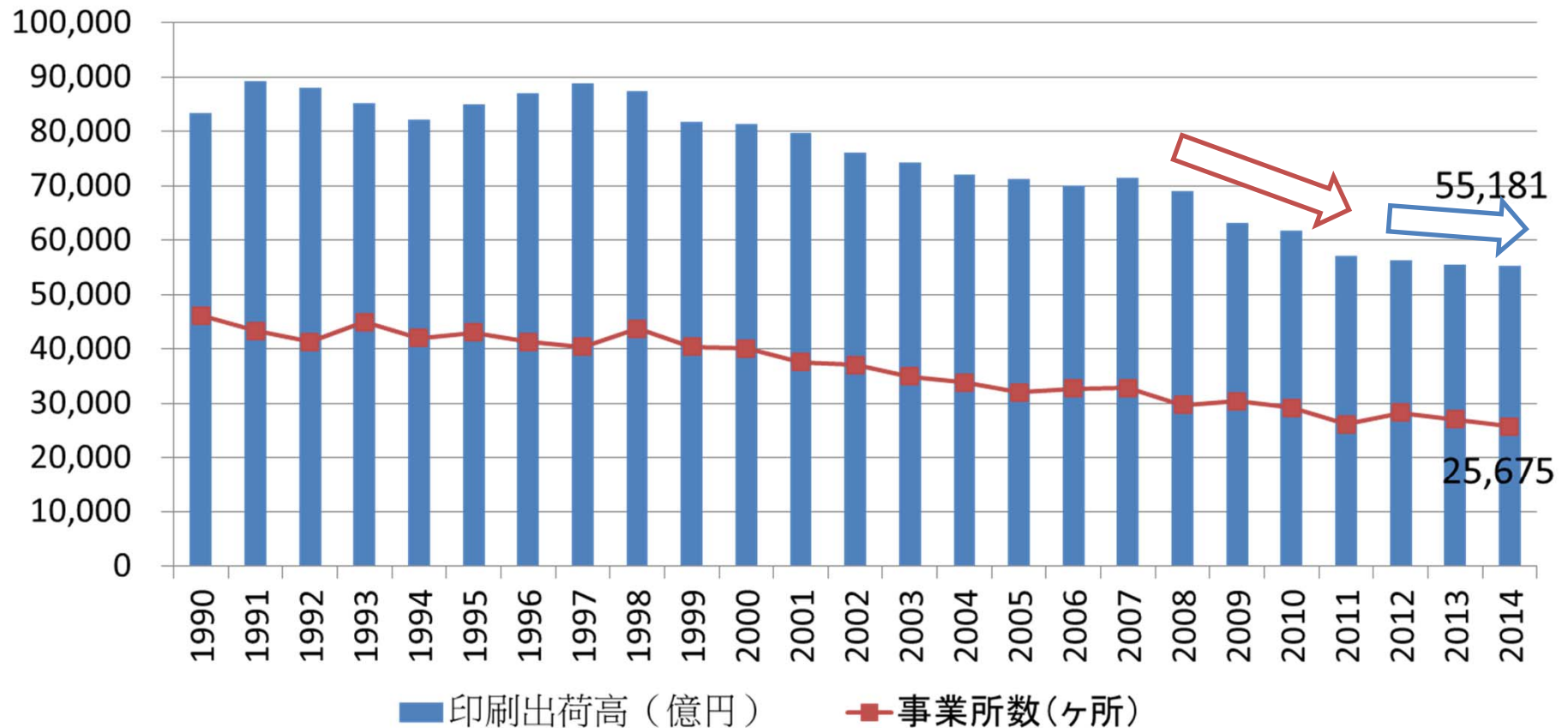
国内印刷市場動向

- ◆ I T化の進展、リーマンショックの影響等で市場は年々縮小してきたが、
ここ数年は縮小スピードが緩んできている状況

(2007～2011：20%減/年平均5%、2011～2014：3.4%減/年平均1.1%)

(億円/ヶ所)

国内印刷出荷高・事業所数の推移



注：2014年は従業員4人以上の速報値しか出ていないため、過去の結果から当社推計

注：印刷産業は、印刷業・製版業・製本業・印刷物加工業・印刷関連サービス業の合計値 / 3人以下の事業所も含む

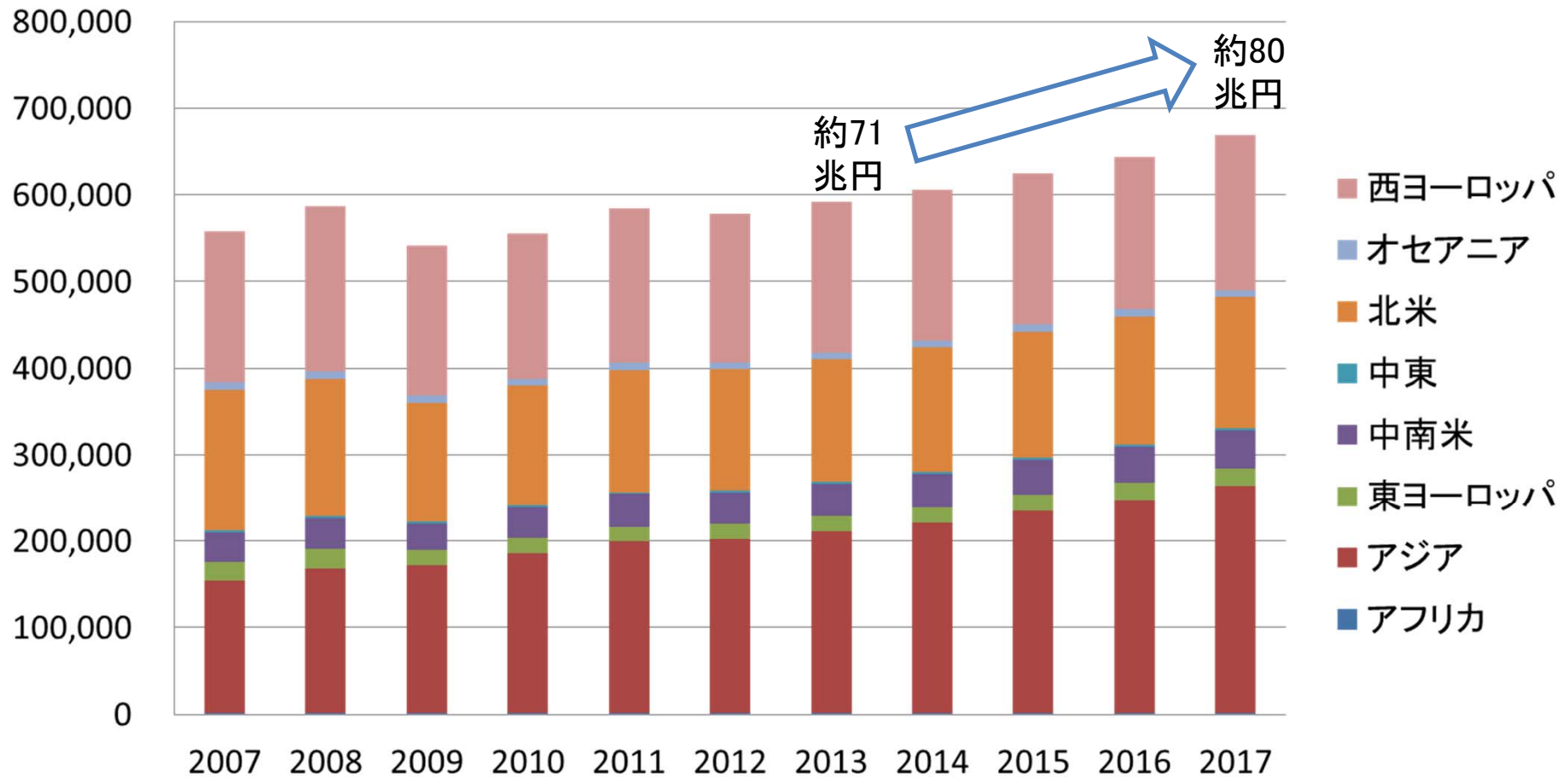
Source：経済産業省「工業統計 産業編」

世界の印刷市場動向

- ◆世界全体の印刷市場規模は**2017年には\$669Billion（約80兆円）**と推定
中でも**アジア諸国の成長率が非常に高い**と予想されている

(US\$ Million)

世界印刷市場規模（印刷出荷額）の推移（地域別）



*為替レート：1ドル120円で計算（3/6時点）

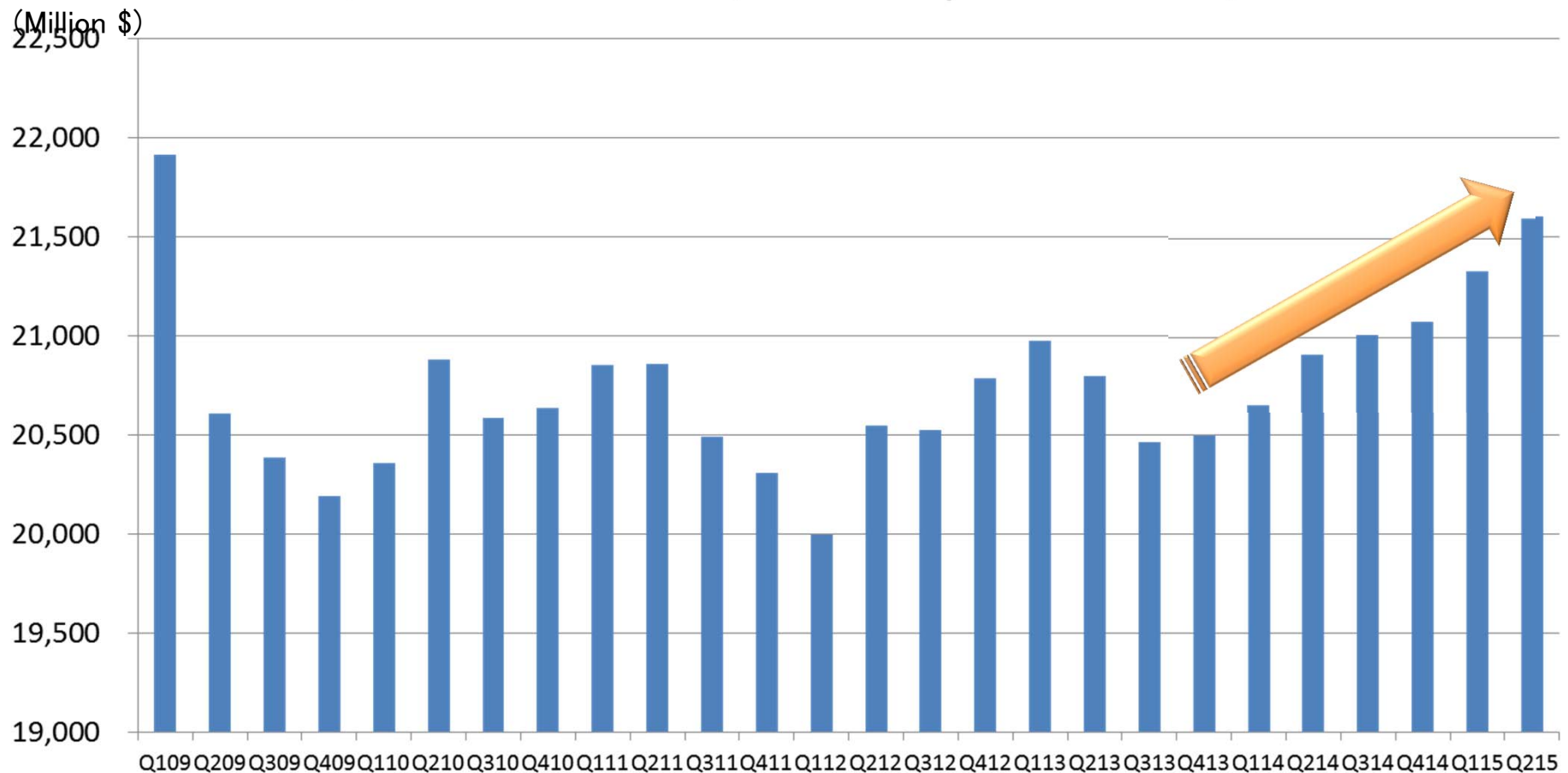
（予測）（予測）（予測）（予測）

Source : NPES "World-wide Market for Print" 2014/01

世界の印刷市場動向

- ◆ アメリカの印刷市場規模は2008年ごろから縮小し続けていたが、ここに来て **2013年末を底として回復傾向にある**（日本の先行指標）

US Printing and related support Activities
(US Census Bureau Data / Value of Shipment 2009-2015)



注：出荷額は”Printing and related support activities”に含まれるCommercial, Commercial Screen, Books, Support Activitiesの合計

Source: United States Census Bureau / アメリカ合衆国国勢調査局 (<http://www.census.gov/>)

◆アメリカではe-bookの伸びが止まる一方で、印刷出版物が復活の兆し

数年前

「誰もが印刷出版物に変わり、ebookが主流になると予測」

- ・ 2008～2010年のe-bookの売上伸び率：1,260%



現在

「印刷本への回帰、機器と紙を使い分けるユーザーが増加」

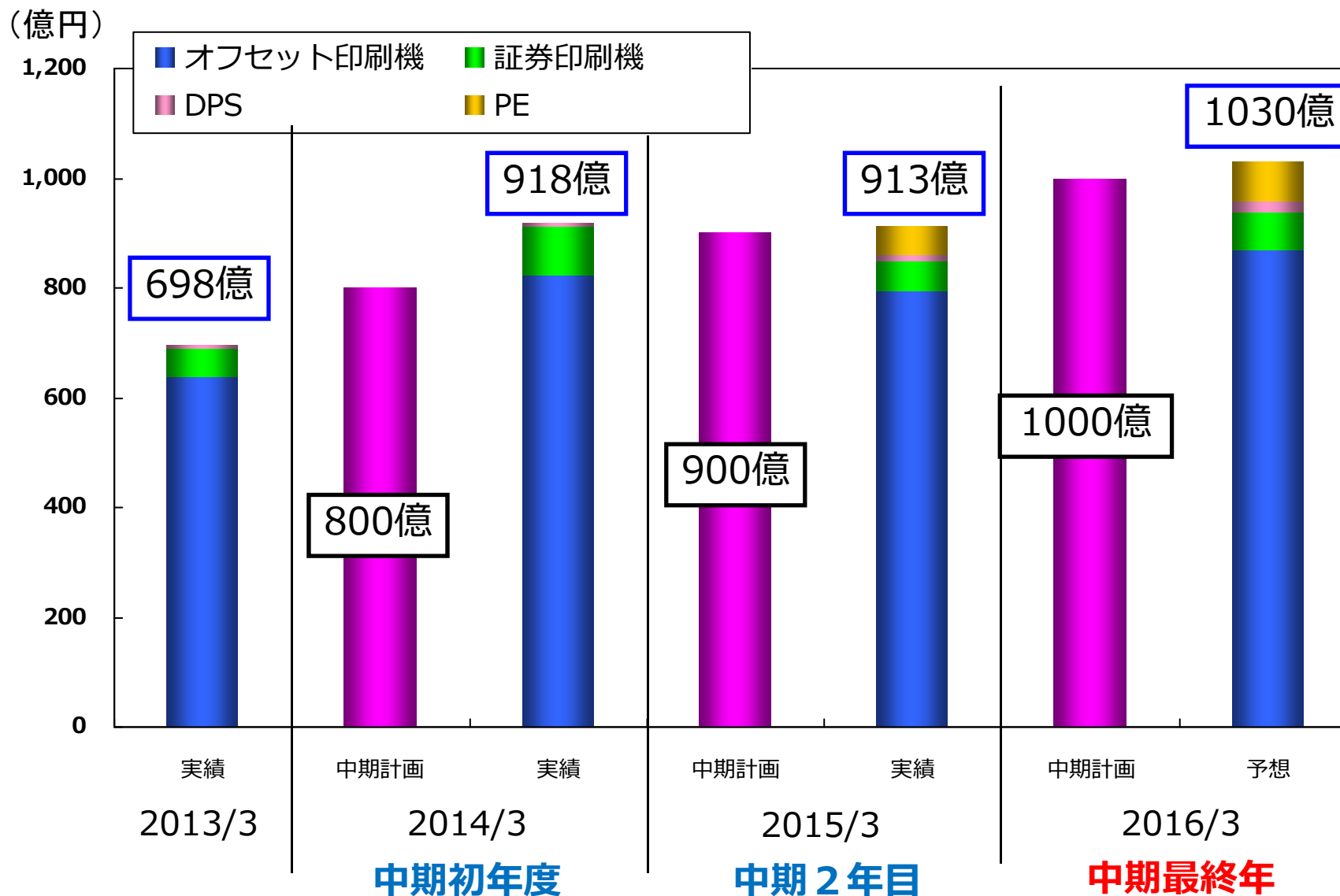
- ・ 今年のe-book売り上げは10%下落 (e-bookの高価格化も影響)
- ・ e-bookの市場占有率はここ2～3年間 20%で横ばい
- ・ 書店の登録数が5年前と比べて2～3割増加
- ・ e-readerの主利用率も2012年：50%⇒2015年1Q：32%に減少

- ◆ アメリカの大手出版社はこのチャンスに印刷インフラと流通強化に資金投入
(流通施設拡張、売上データ活用等による効率的な在庫管理・補充システムの構築等)
- ◆ 売上の拡大と効率的な流通による返本率低下などの効率化で
2015年に最高益を出す出版会社も出現するなど、出版業界に環境良化の兆し有

3. 第IV期中期経営計画の進捗状況

第Ⅳ期中期経営計画の進捗状況

◆ 中期計画期間内の業績グラフ



第Ⅳ期中期経営計画サマリーの進捗状況

	68期	69期	70期(最終年度)
既存事業 (オフセット印刷機事業の 収益強化)	<ul style="list-style-type: none"> ・中国/アジア市場拡大 新興国向け商品開発 ・H-UV拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージ拡販強化 パッケージ機商品開発 パッケージ内覧会(KGC) ・シンガポール、マレーシア に販売現法設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国、アジア、インド市 場開拓強化 ・欧米市場販促強化(デジ タル機販売チャンネル) ・市場占有率向上(日本) 国内市場シェア 58.5%
事業構造改革 (新規事業収益化)	【証券印刷機事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・両面オフセット印刷機量産 ・両面コーター機量産 ・アジア諸国よりライン受注 	【証券印刷機事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・証券印刷機商品化完了 ・BOE向けライン受注 ・中国、アジア、等より受注 	【証券印刷機事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・コンビネーション機開発 ・アジア諸国の入札対応 ・アフリカ、ロシア案件落札 インドネシア向け受注
	【PE/精密機械事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・額縁配線印刷機商品化 	【PE/精密機械事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・東海HD(株)買収 (現SERIAコーポレーション) PE事業の中核 	【PE/精密機械事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・海外販売展開強化 ・電子部品製造装置開発拡 大(PCB/セラミックス) ・印刷資材販売体制強化
	【DPS事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・KM社とIS29共同開発契約 ・POD機器のOEM販売開始 ・LANDA社とナノテクノロジー 印刷機ライセンス契約締結 	【DPS事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・IS29/Landa開発継続 ・生産、販売体制 ・KCMソフト販売 	【DPS事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・IS29/IGAS展出品及び先行 予約受付開始 ・Landa機drupa出展準備 ・SCREENとの戦略的事業契約 ・販売チャンネルの整備
営業業態変革 (PESP事業化)	<ul style="list-style-type: none"> ・PESP商品開発実施 インクローラー、K-INK ・PMサービス本格実施 	ソリューションビジネス営業の 開始 <ul style="list-style-type: none"> ・断裁機の販売開始 ・K-INKの販売拡大 ・KGCリニューアル 	PESP商品拡大と海外販売の推 進(営業+サービス) <ul style="list-style-type: none"> ・PESP商品開発の拡大 ・POSTプレス商品の拡大 ・上海エテルナとのODM契約 打抜き機 IGAS参考出品

4. 70期上期の各事業における主要トピックス

IGAS展示会への出展

- ◆IGAS2015へ出展 （開催期間：2015年9月11日(金)～16日(水)）
 - ・ Impremia IS29を国内初出展、その他、新製品、新技術を多数展示し、ブース内は常に大盛況
 - ⇒PESPとしての小森を、来場者全員にアピール。



IGAS展示会成果 （期間中来場者数：56,533名）

- ・ 国内顧客対応件数：2,541件
- ・ 海外顧客来場者数：750名
- ・ IGASキャンペーン受注目標達成

◆ 上期受注予算達成

◎ 国内省エネルギー機器等導入支援補助金（A類型）対応

- 補助金申請へのスピーディーな対応により、小森ユーザー以外にアウトサイド（新規）ユーザーからの多数の受注を獲得

◎ IGASキャンペーンの推進

- 4～10月までのキャンペーンに対し、目標達成

★ IGASキャンペーン受注目標と実績

国内・海外目標：180億円 ⇒ 230億円（4～9月末）

◆Apressia シリーズ第2弾をIGAS2015に出展

小森のパッケージングソリューションとして
自動平盤打抜き機 Apressia DC105を参考出品

※打抜き機販売に向け、2015年9月にBOBSTグループ傘下の上海エテルナ社とODM契約を締結

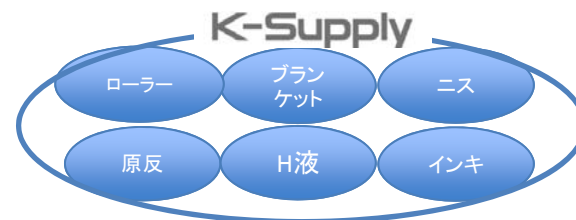


◆PESP商品群の拡大と先進国を中心とした世界展開の実施

◎ 資材・消耗品 / K-Supply Ink (H-UV) の本格世界展開スタート

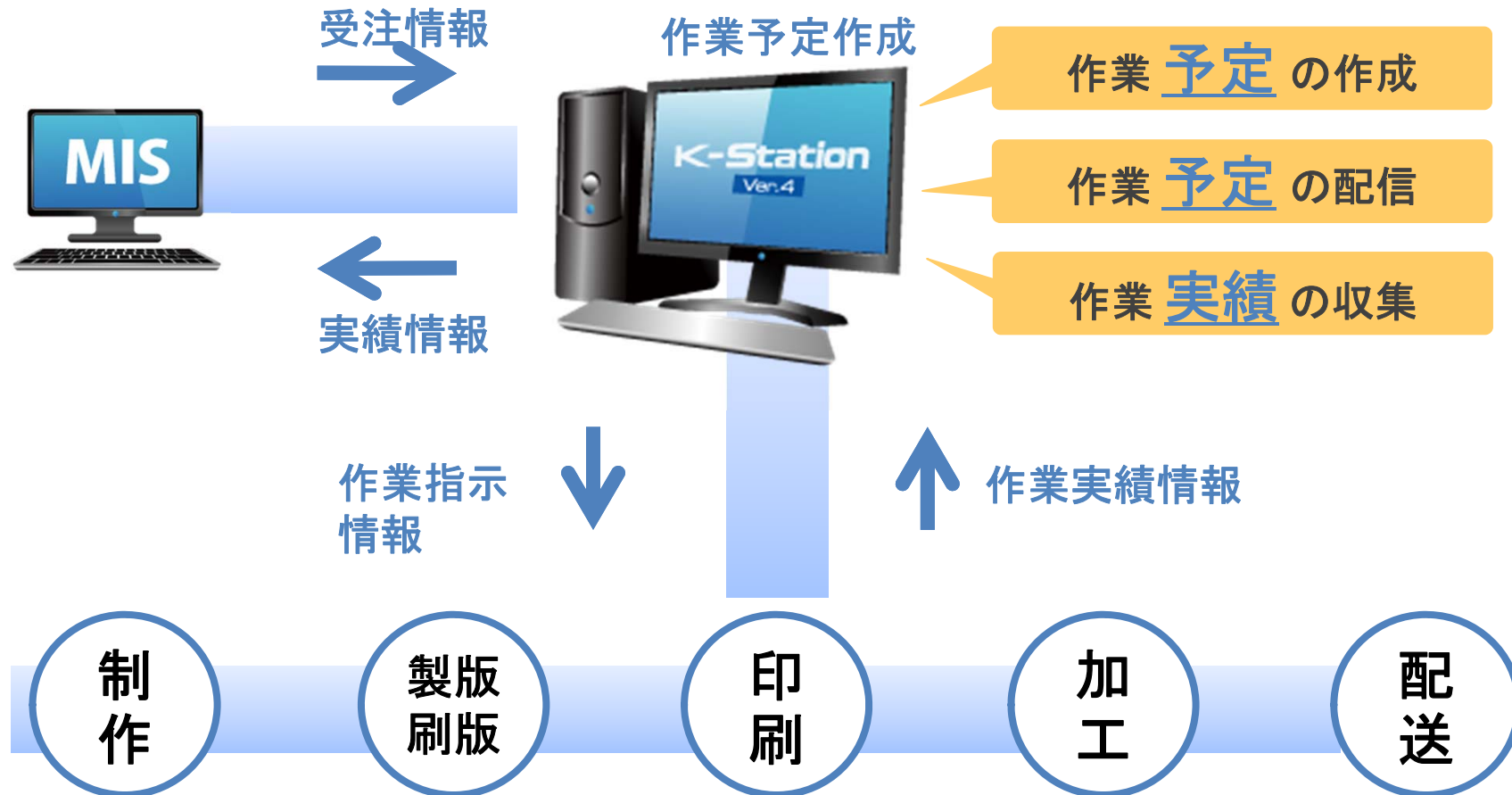
◎ 周辺機材 / Apressiaシリーズの本格販売開始

◎ PMサービス / KomoriKare (サービス商品) の拡大と本格受注



◆印刷工程管理ソフト **K-Station 4** IGAS2015で発表展示

- 工程情報の一気通貫による”見える化”を実現



★印刷会社様向けに自社開発し、今期従来Verから大きく刷新した
工程管理ソフトで、既に多数のお客様に導入済

◆ソリューションクラウドシステム IGAS2015で発表展示

※画面イメージ:タブレット



印刷会社の生産性向上を支援する情報共有プラットフォーム

KP-Connect は、安全なクラウド環境で”印刷会社”と”KOMORI”が印刷機の詳細な稼働情報を共有し、そのデータ分析をすることにより、お客様の印刷機や印刷作業の問題点を見つけ、改善方法を提示していく全く新しい情報分析サービスです。

★小森とユーザー間の情報共有化により可能となる稼働分析の結果を双方のビジネスに繋げる。

◆Impremia IS29 IGAS2015出展

◎IGASにImpremia IS29を正式発表

革新的な印刷品質、性能に対して、来場されたお客様から高い評価頂く。

2015年9月より先行予約受付を開始。

2016年春からの正式販売に向けて、海外βテストにて最終評価を実施。



◆SCREEN GP Americas と戦略的事業契約の締結

◎Komori Americaと（株）SCREEN ホールディングス米国子会社のSCREEN GP Americas社開発のロール式高速インクジェット印刷機「Truepress Jet520 HD」の米国における独占販売契約の締結実施。



※SCREENホールディングスHPより抜粋

4. 70期下期の重点施策

◆受注・売上の確保

■オフセット印刷機事業

◎先進国（主に日米欧）における拡販戦略(デジタル機との販売融合)

- H-UV機の拡販強化→デジタル機
- 成長するパッケージ市場での拡販

◎日本市場に対する市場占有率向上

- 補助金受注案件、IGASキャンペーン商談案件のフォロー

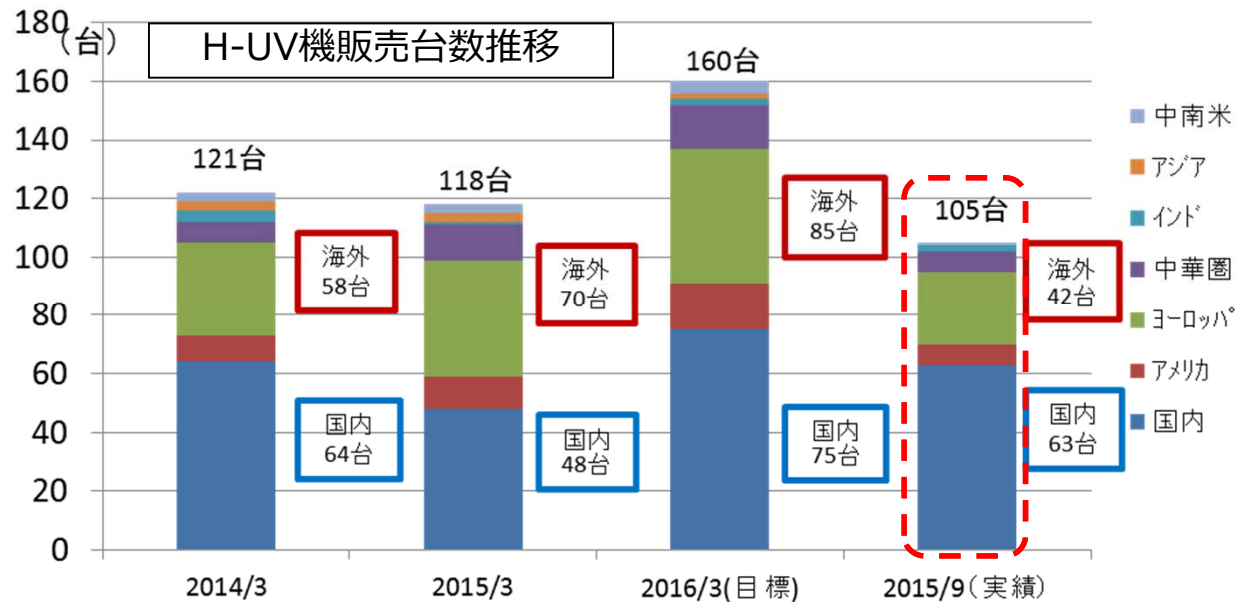
◎新興国（中国・アジア・インド）における拡販戦略

- シンガポール、マレーシア現地法人の販売拡大
- LA/GL37等の新興国向け商品の拡販

◎PESP事業の推進

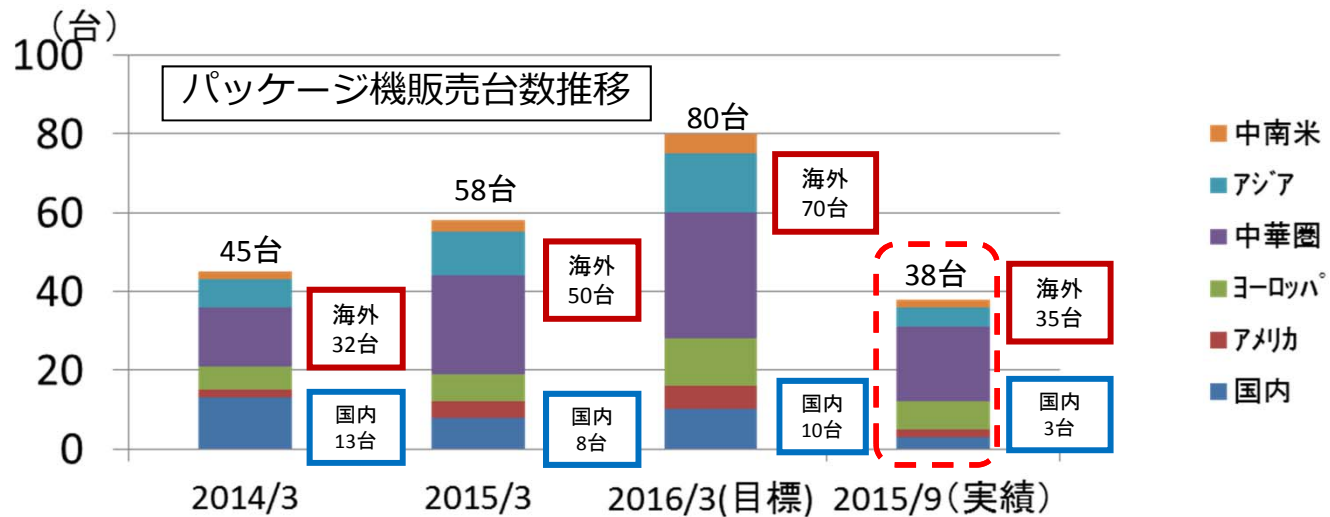
- PESP商品の開発強化と本格海外展開

◎先進国に対するH-UV機拡販



H-UV専用K-Inkとのセット販売を基本に
日本、欧米中心にH-UV機の拡販強化

◎パッケージ成長市場に対して、小森の高品質・高生産性マシン LITHRONE GX40/GX40RP 拡販



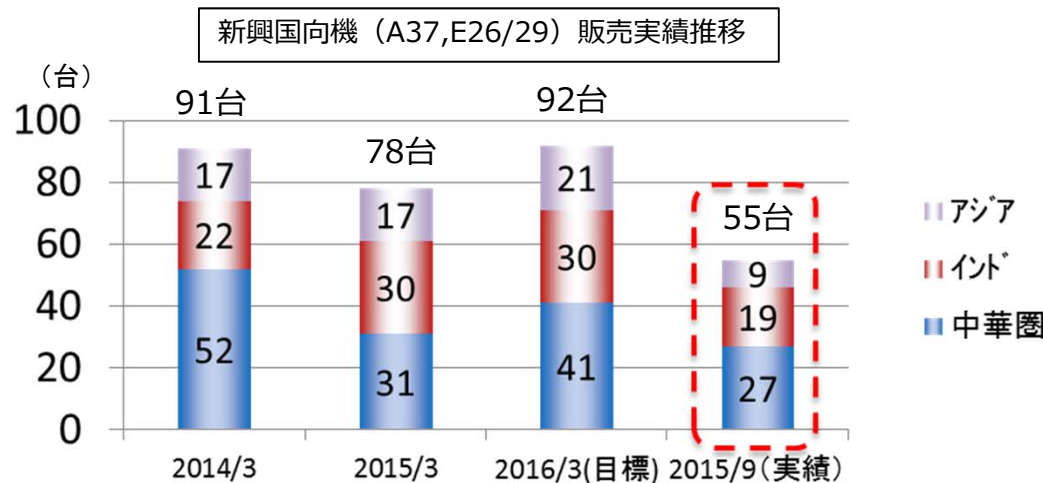
欧米先進国と成長著しい中華圏に対し
パッケージ印刷機の拡販強化

◎ 東南アジア地区現地法人販売拡大

シンガポール (KSA) 、マレーシア (KMY)

◎ **LITHRONE A37/G37** (中国/インド/アジア向戦略機) 拡販

■ 中国/インド/アジアでニーズが高いハイコストパフォーマンス菊全版印刷機

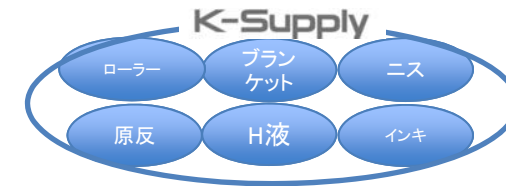


中国及びインド市場を中心に
新興国向け機械の拡販戦略の強化

◎ PESP商品のグローバル拡販

◇ 資材・消耗品 / K-Supply Ink (H-UV) の世界展開強化

◎ 海外販売強化



◇ 周辺機材 / Apressiaシリーズの拡販強化

- ◎ 断裁機 Apressia CTシリーズの拡販
- ◎ 打抜機 Apressia DCシリーズの販売開始
- ◎ 新商品の開発



◇ PMサービス / KomoriKare (サービス商品) の拡販

◇ IoTシステム、印刷ユーザー向け生産管理ソフトの拡販

- ◎ KP-Connectの導入と課題解決ソリューションサービス営業開始
- ◎ K-Station4の拡販



K-Station 4

◆受注・売上の確保

■DPS事業

◎ Impremia IS29機の正式受注・販売・生産体制の早期構築

◎ Landa機のdrupa出展準備

◎ SCREEN社「Truepress Jet520 HD」の拡販



早期事業化を目指し、DPS販売・生産体制構築。

高頻度なユーザー別印刷デモ開催、ビジネスモデル提案活動を中心とした販促活動を実行し、受注に繋げる。

◆受注・売上の確保

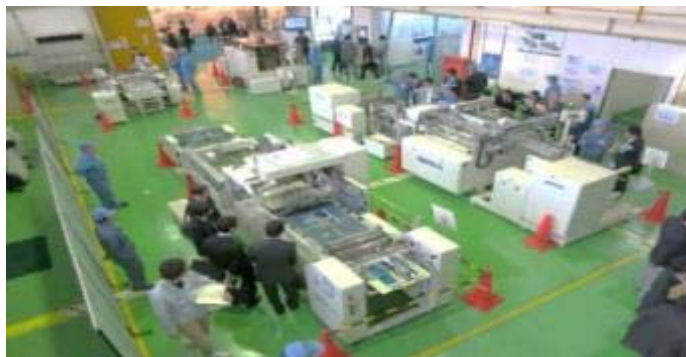
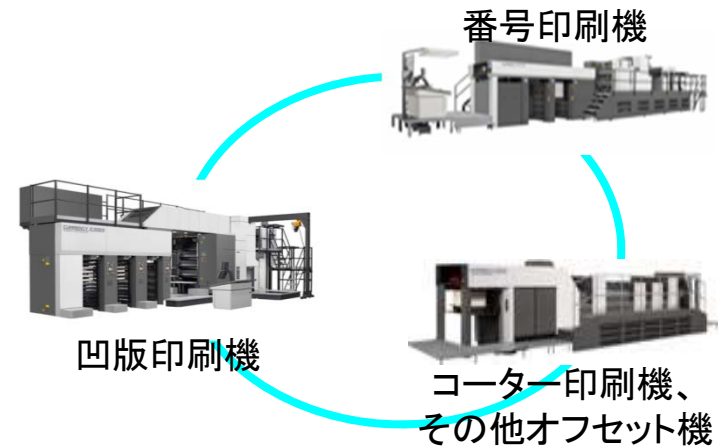
■証券印刷機事業

- ・アジア圏受注活動強化
- ・海外向けコンビネーション機開発

■PE事業

- ・EXPO-SERIAの成功
- ・海外営業展開の活動強化

2015 EXPO SERIA
WEST EAST



◆受注・売上・収益の確保

■全事業共通：モノづくり革新、価格競争力の強化（収益構造改革）

- ・新3工場体制構築実行計画策定（つくば、山形、中国南通工場）
- ・商品開発の推進⇒「魅力ある商品」開発の実施、開発プロジェクト管理徹底、要素技術開発の推進（開発効率の向上）
- ・市場ニーズに合った開発・生産リードタイムの実現、目標コストを達成する為の革新的生産・開発システムの構築

◎リードタイム 15%以上削減 ◎生産コスト 10%以上削減

■KGC：プロフィットセンター化推進

- ・商談デモの質の向上から受注率向上
- ・R&D機能向上とPESP商品の開発強化
- ・セミナー特別コースの設定による受講者数拡大活動
- ・印刷技術ナレッジ集約と各現法デモセンターの統括管理



◆drupa2016 出展準備



(drupa 公式HPより抜粋)

開催期間：2016年5月31日(火)～6月10日(金) 11日間

会場：メッセデュッセルドルフ (ホール15)

※前回と同じホールです

小森出展規模：2,010m²



現在、出展準備活動を進行中。
Landa機含め、多数の新製品、新技術、新商品を展示予定。

⇒全世界にPESPのKOMORIをアピール

◆第Ⅴ期中期経営計画策定

- ◎第Ⅳ期中期経営計画の総仕上げの位置付けとし、“Planned Change”を完遂させる。
- ◎成長性、収益性、資本効率を考慮した計画を策定し遂行する。
- ◎既存事業に対して更なる成長戦略を計画実行する。
- ◎成長市場に対する新たな新規事業を開発する。

⇒71期4月より全社キックオフ

2016年(平成28年)3月期 第2四半期 業績説明資料



2015年 11月9日
株式会社 小森コーポレーション

決算概要 P/L

(単位:億円)

		2016/3 上期実績	2015/3 上期実績	差額	前年 同期比	2016/3 上期計画	差額	計画比
受注高		517	422	95	123%	503	14	103%
売上高		433	400	32	108%	495	△62	87%
営業利益		22	22	0	99%	30	△8	72%
経常利益		28	27	1	103%	26	2	108%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		38	29	10	135%	23	15	167%
平均レート(円)	US\$	121.50	103.51	/		115.00	/	
	EUR	134.60	139.07			125.00		
期末レート(円)	US\$	119.96	109.45			115.00		
	EUR	134.97	138.87			125.00		

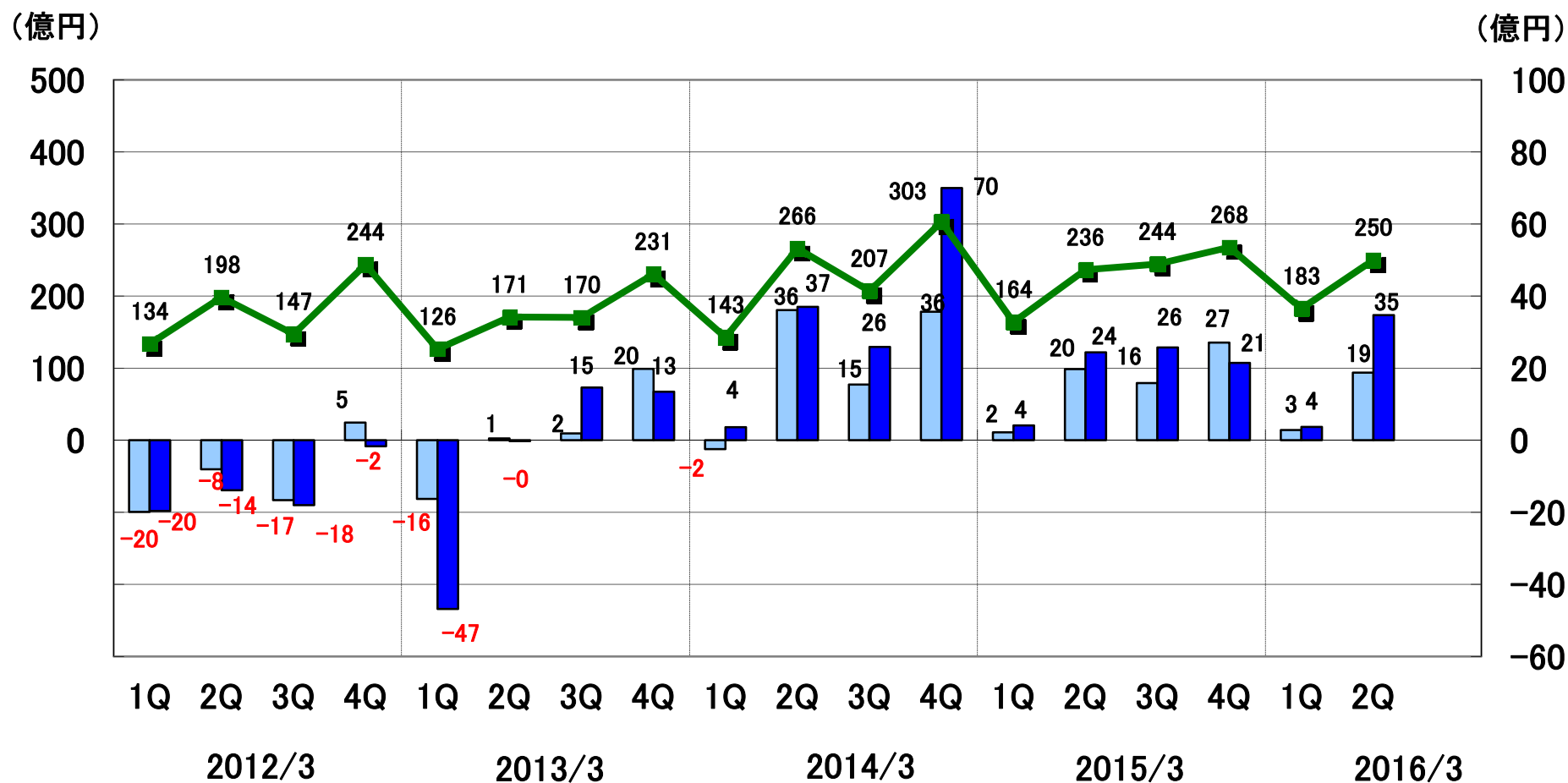
主な資産・負債

(単位:億円)

	当上期末 2015.9.30	前期末 2015.3.31	差額
現金・預金	429	443	△14
売上債権	215	220	△5
有価証券	197	213	△16
棚卸資産	353	315	38
うち製品	178	139	39
有形固定資産	348	340	8
無形固定資産	34	30	4
仕入債務	181	182	△1
短期借入金	1	2	△1
社債	100	100	0
長期借入金	0	0	0
株主資本	1,348	1,322	26
総資産	1,879	1,846	33

売上高・損益の推移

—■ 売上高(左目盛)
 ■ 営業利益(右目盛)
 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益(右目盛)

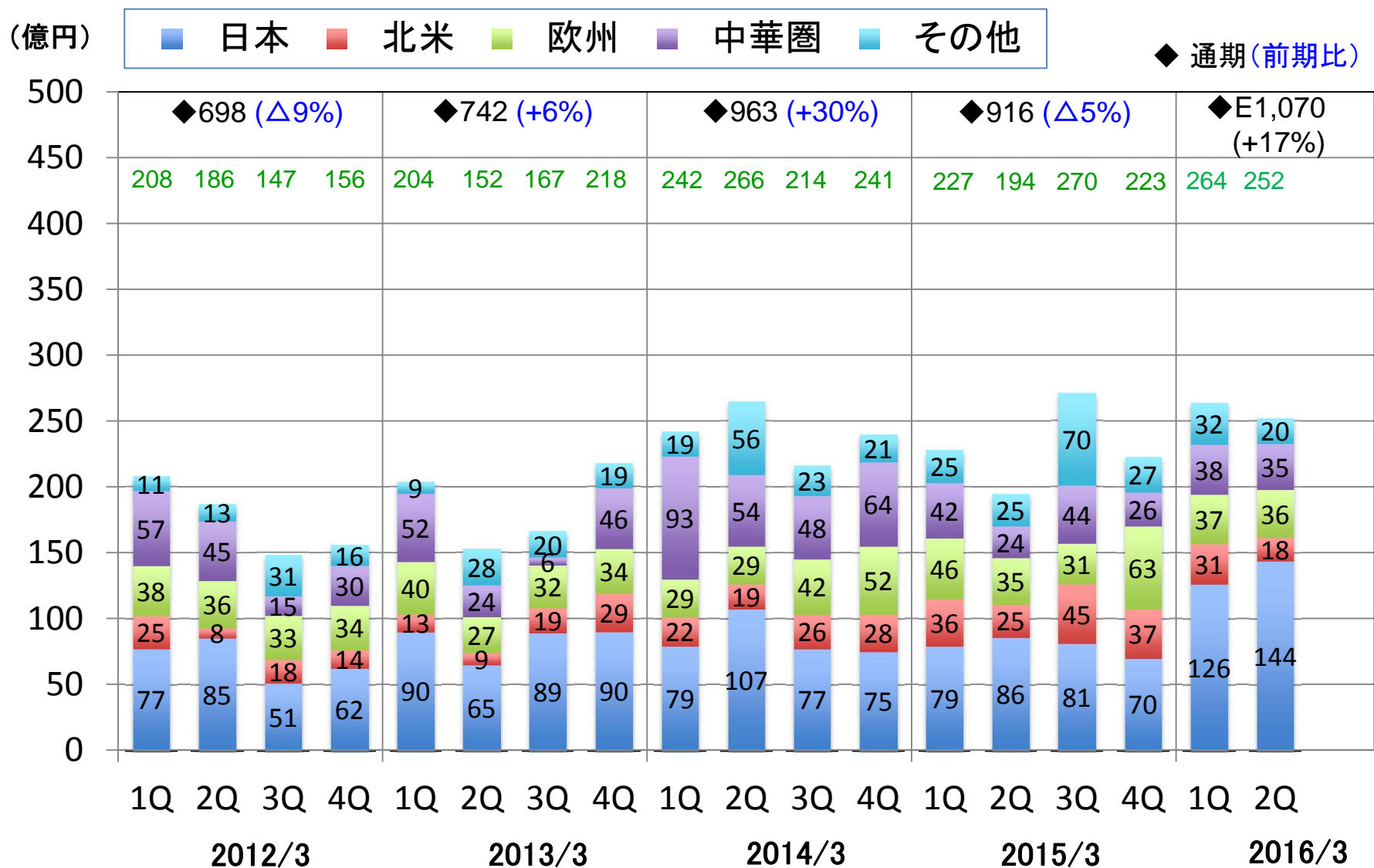


地域別受注高

(単位:億円)

	2016/3 上期実績	2015/3 上期実績	前年 同期比	2016/3 上期計画	計画比
日 本	270	165	163%	207	130%
北 米	49	60	82%	78	63%
(百万ドル)	(41)	(58)	(70%)	(68)	(60%)
欧 州	72	81	90%	74	98%
(百万ユーロ)	(54)	(58)	(93%)	(59)	(91%)
中 華 圏	73	66	111%	88	83%
そ の 他 地 域	52	50	105%	56	93%
合 計	517	422	123%	503	103%

地域別受注高

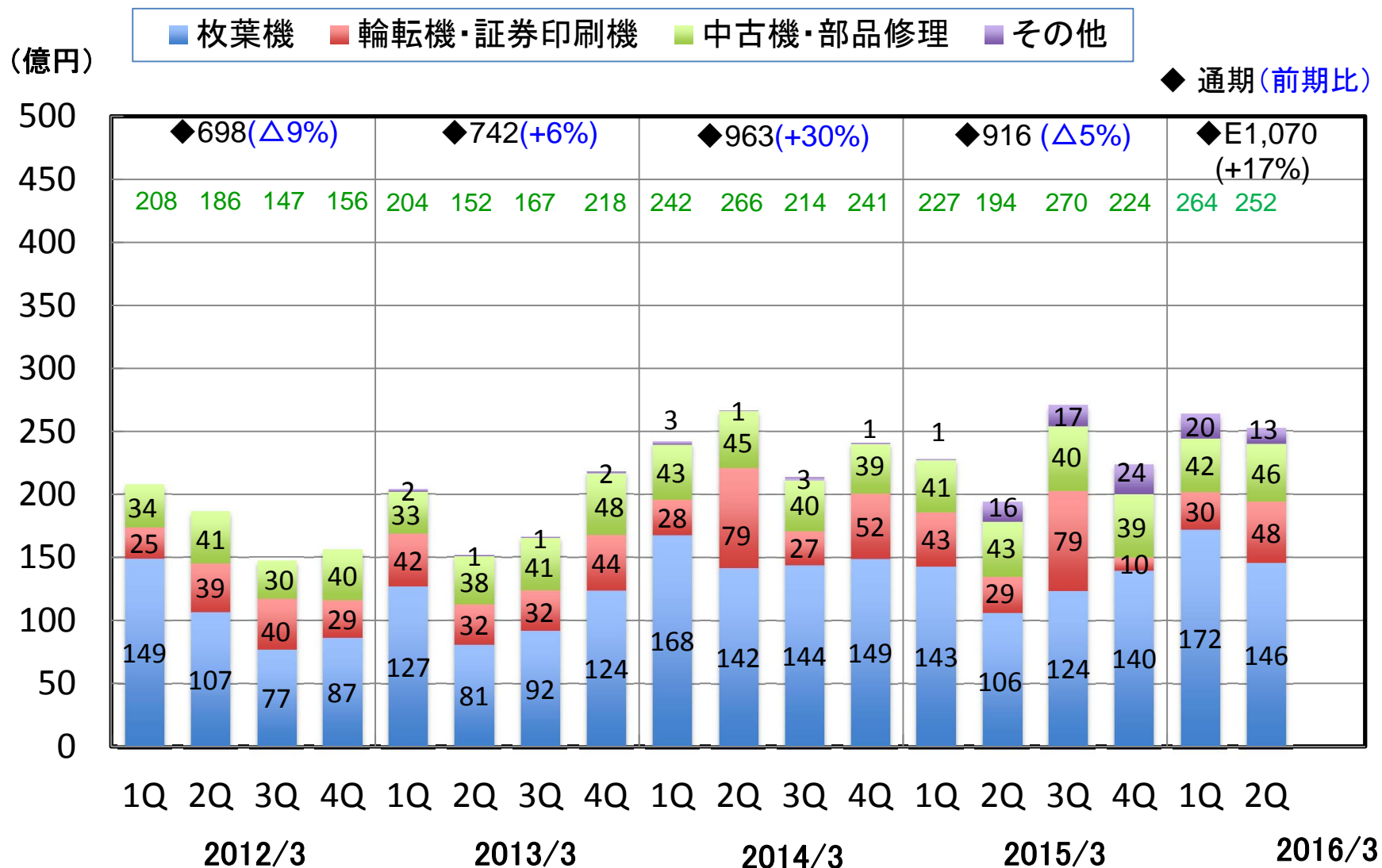


品目別受注高

(単位:億円)

	2016/3 上期実績	2015/3 上期実績	前年 同期比	2016/3 上期計画	計画比
枚 葉 機	318	249	128%	274	116%
輪転機・証券印刷機	78	72	109%	79	99%
中古機・部品修理	88	84	104%	102	86%
そ の 他	33	17	197%	48	68%
合 計	517	422	123%	503	103%

品目別受注高

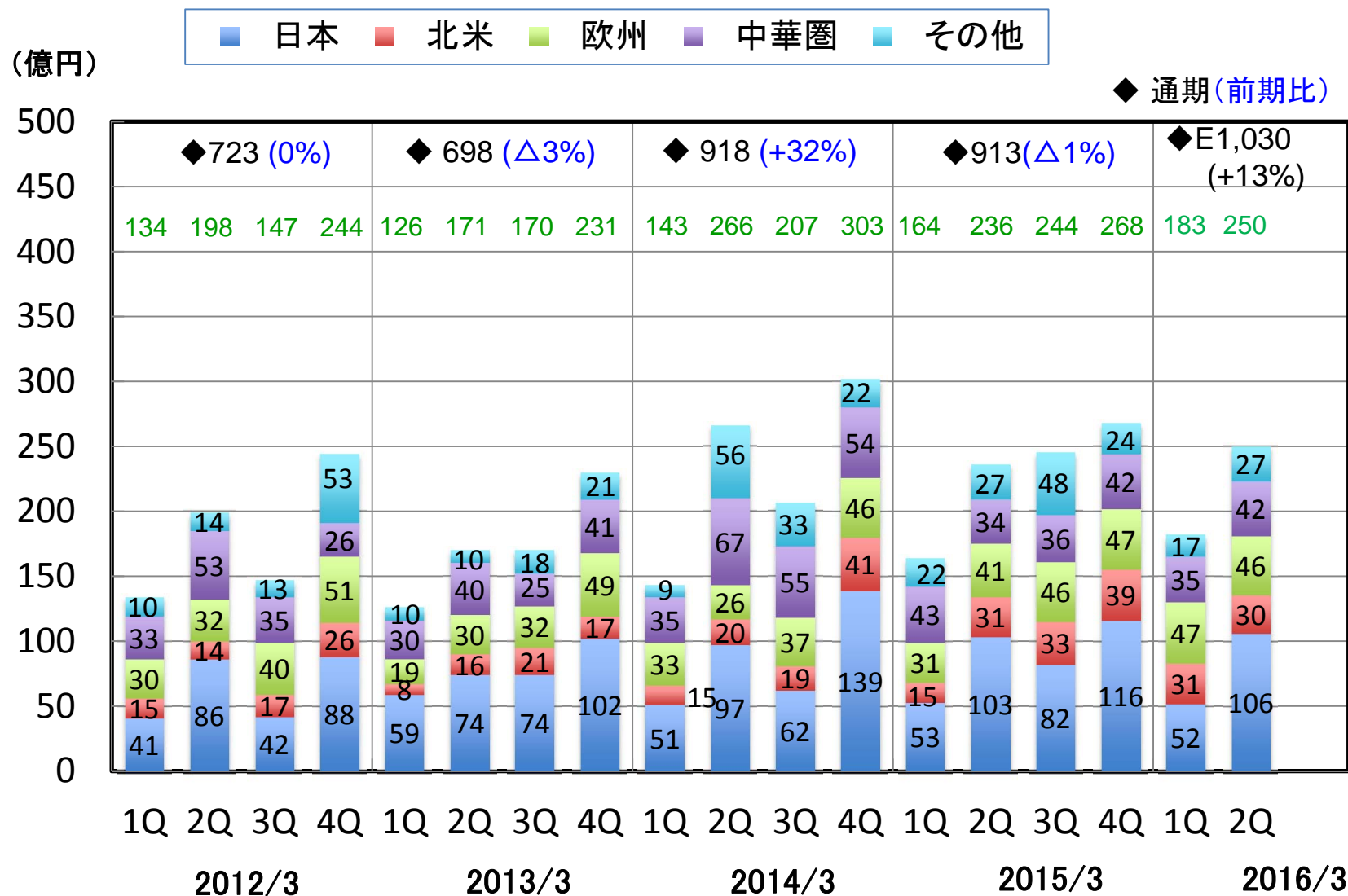


地域別売上高

(単位:億円)

	2016/3 上期実績	2015/3 上期実績	前年 同期比	2016/3 上期計画	計画比	
日 本	158	156	101%	159	100%	
北 米	60	46	131%	93	65%	
	(百万ドル)	(50)	(44)	(112%)	(81)	(61%)
欧 州	93	72	128%	83	112%	
	(百万ユーロ)	(69)	(52)	(132%)	(66)	(104%)
中 華 圏	77	77	100%	98	78%	
そ の 他 地 域	44	49	90%	62	72%	
合 計	433	400	108%	495	87%	

地域別売上高

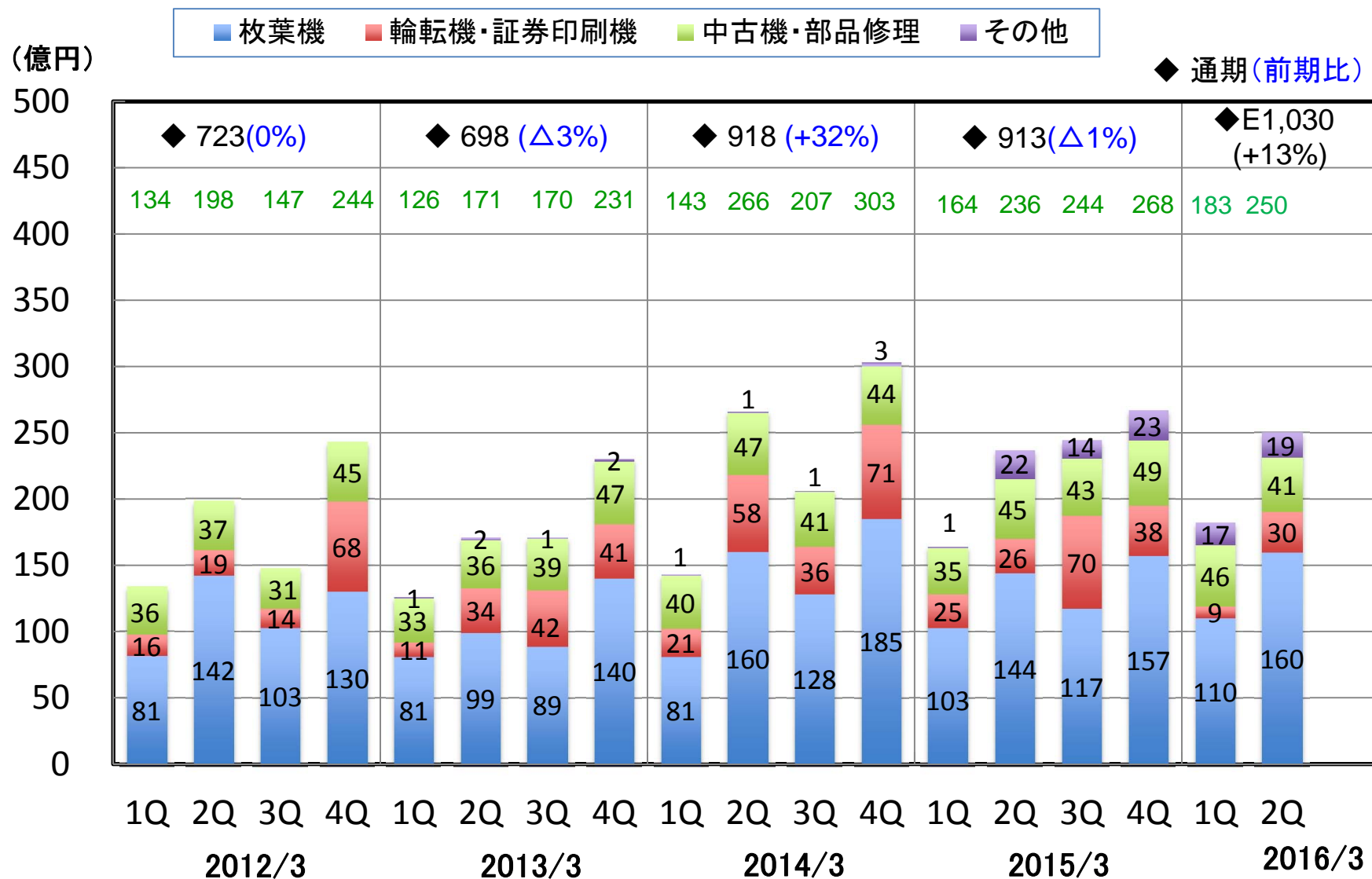


品目別売上高

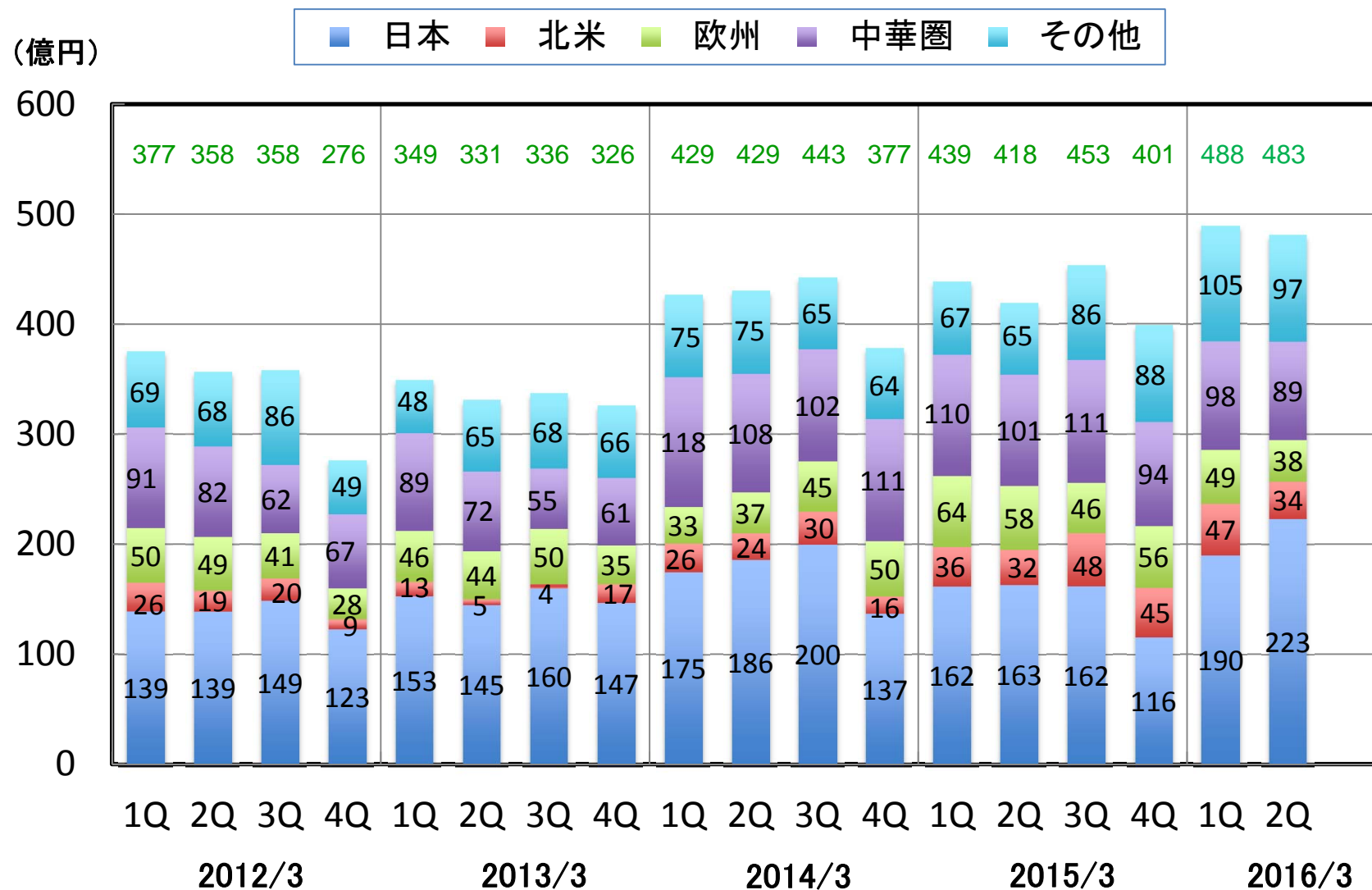
(単位:億円)

	2016/3 上期実績	2015/3 上期実績	前年 同期比	2016/3 計画	計画比
枚 葉 機	270	247	109%	279	97%
輪転機・証券印刷機	40	51	78%	82	48%
中古機・部品修理	87	79	110%	95	92%
そ の 他	36	23	157%	39	91%
合 計	433	400	108%	495	87%

品目別売上高

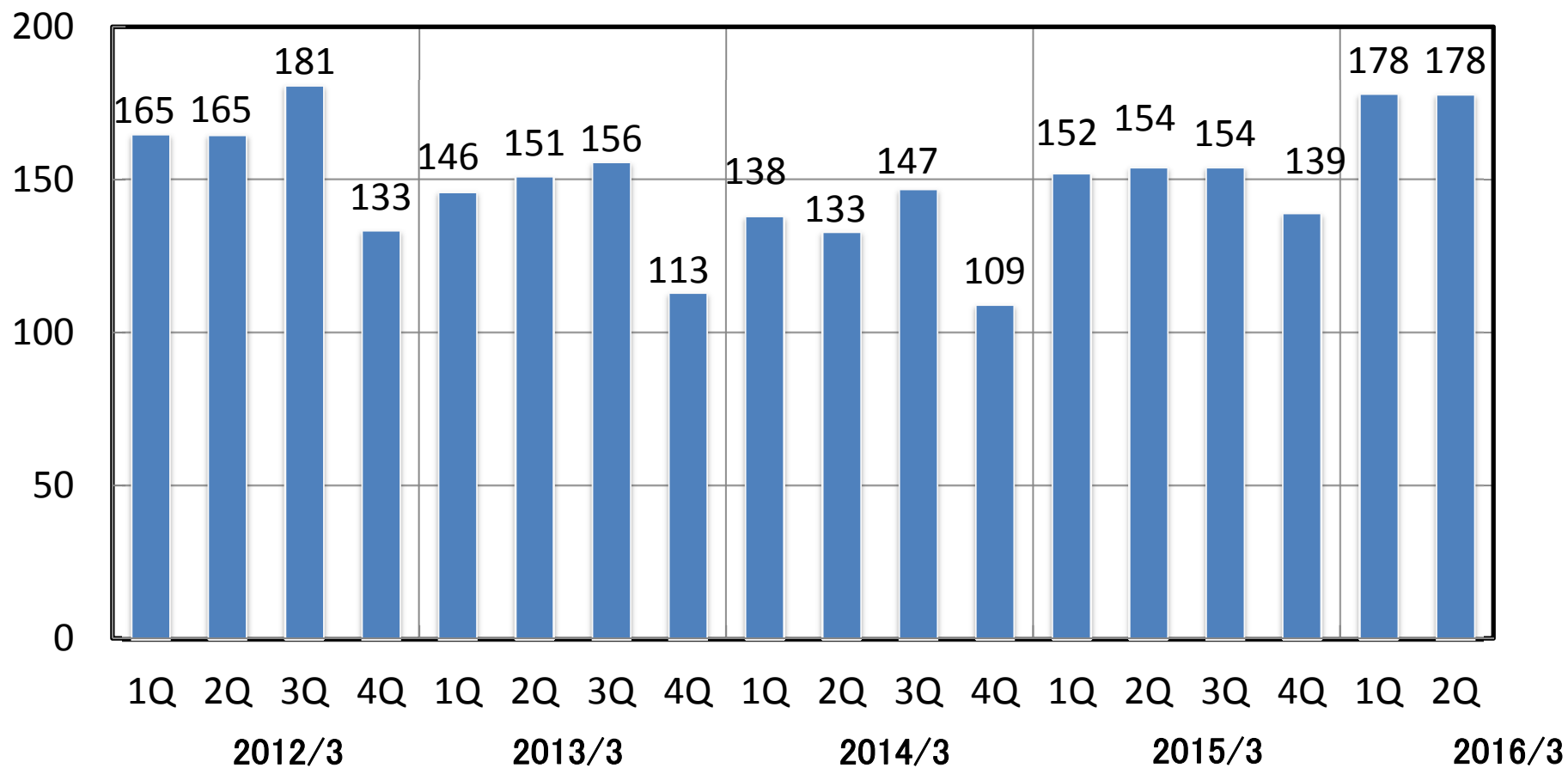


受注残高の推移

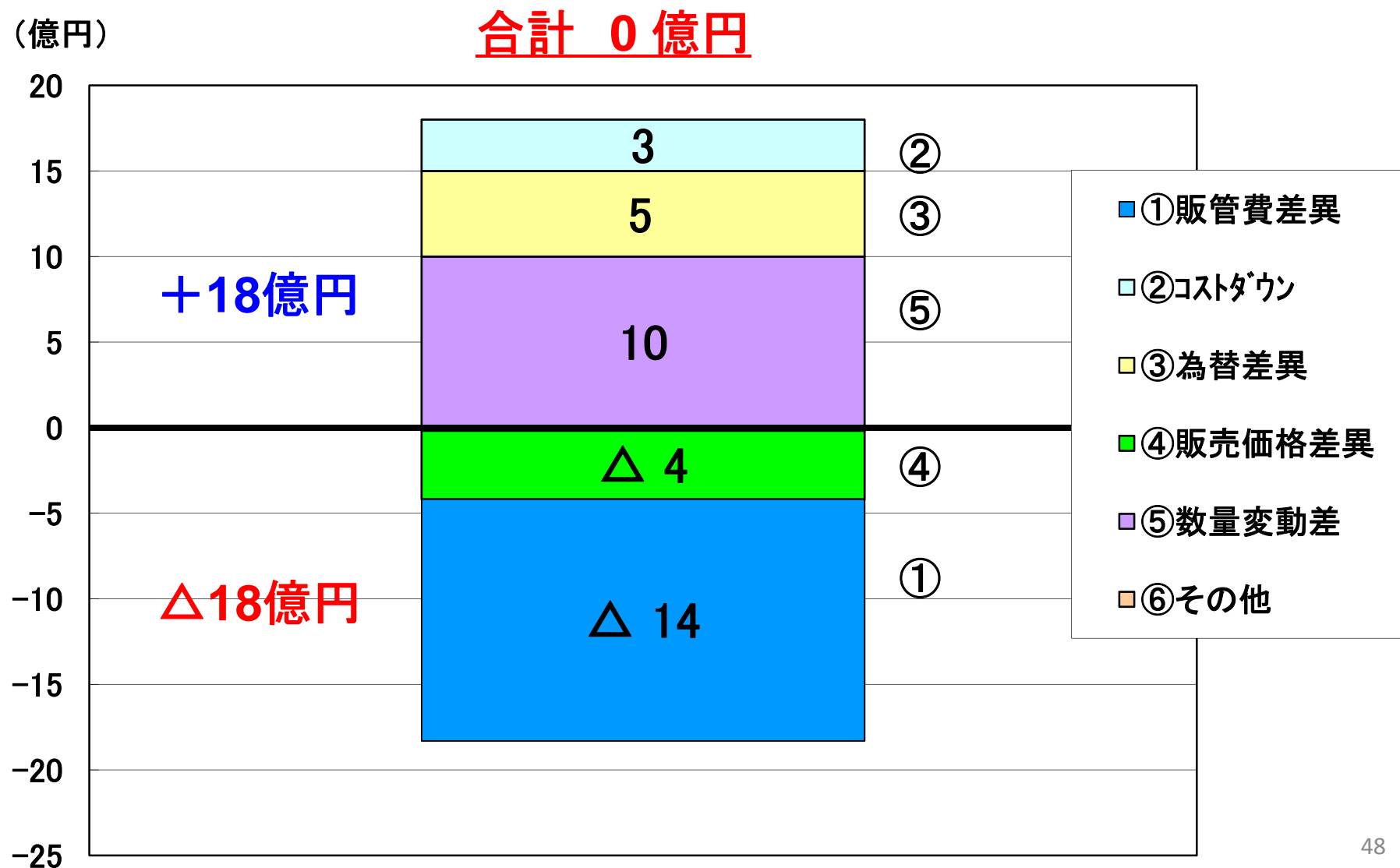


製品在庫の推移(原価ベース)

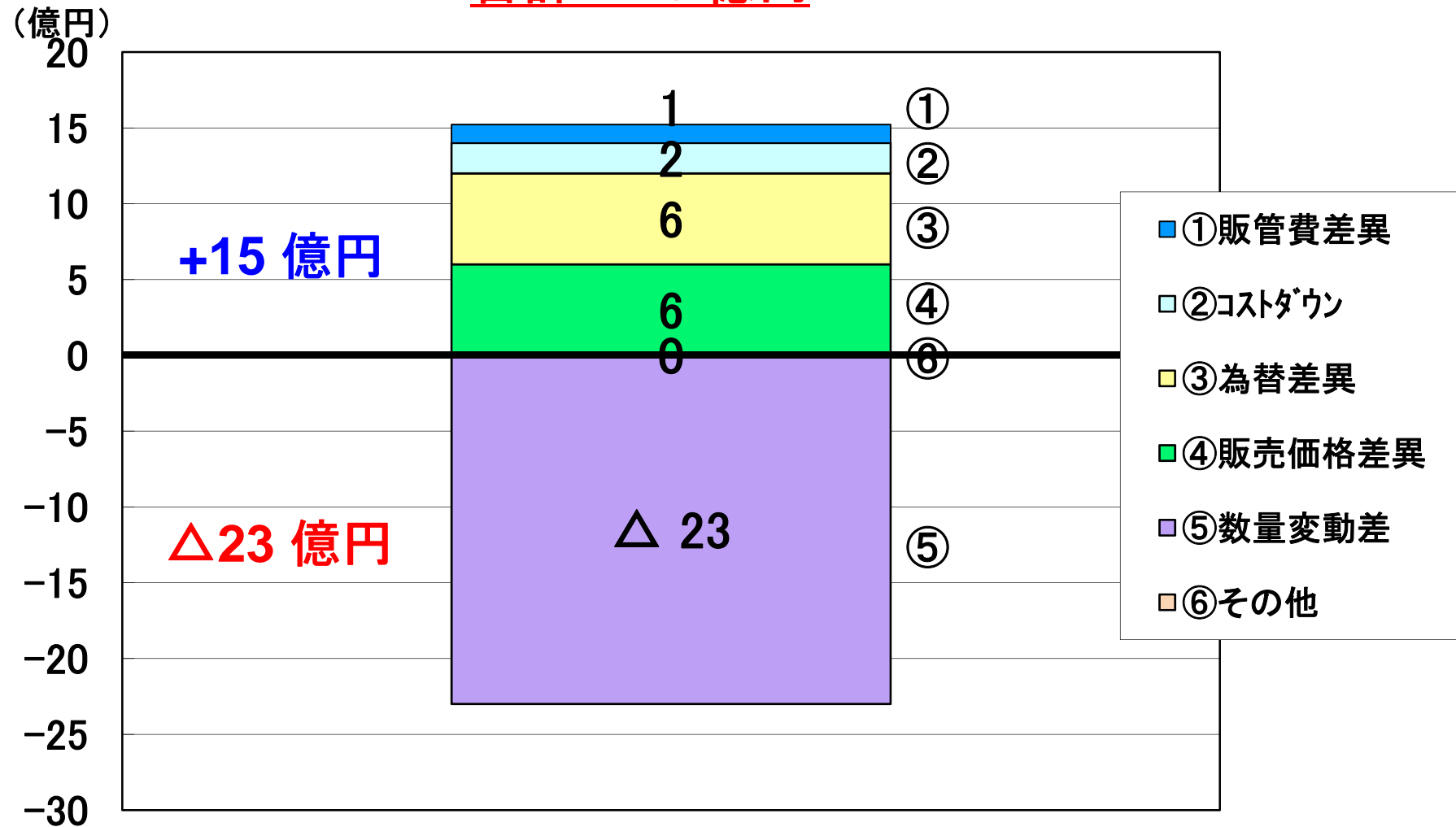
(億円)



上期営業損益の変動要因(対 前年同期比)



上期営業損益の変動要因(対 計画比)

合計 $\Delta 8$ 億円

通期業績見通し

業績見通し

(単位:億円)

		2016/3 上期実績	<2Q修正> 2016/3 下期計画	<2Q修正> 2016/3 通期計画	2015/3 前期実績	差額	前期比	<修正前> 2016/3 通期計画	差額
受注高		517	553	1,070	916	154	117%	1,090	△20
売上高		433	597	1,030	913	117	113%	1,030	0
営業利益		22	58	80	65	15	123%	80	0
経常利益		28	50	78	78	0	99%	78	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益		38	40	78	76	2	103%	78	0
平均レート(円)	US\$	121.50	120.00	120.81	110.03	/	/	115.00	/
	EUR	134.60	130.00	132.48	138.68			125.00	
期末レート(円)	US\$	119.96	120.00	120.00	120.17			115.00	
	EUR	134.97	130.00	130.00	130.32			125.00	

地域別受注高 予想

(単位:億円)

	2016/3 上期実績	<2Q修正> 2016/3 下期計画	<2Q修正> 2016/3 通期計画	2015/3 前期実績	差額	前期比
日 本	270	156	426	316	109	135%
北 米	49	91	140	142	△2	98%
(百万ドル)	(41)	(75)	(116)	(129)	(△14)	(90%)
欧 州	72	98	170	175	△5	97%
(百万ユーロ)	(54)	(74)	(128)	(126)	(2)	(102%)
中 華 圏	73	74	147	135	12	109%
そ の 他 地 域	52	135	187	147	41	128%
合 計	517	553	1,070	916	154	117%

品目別受注高 予想

(単位:億円)

	2016/3 上期実績	<2Q修正> 2016/3 下期計画	<2Q修正> 2016/3 通期計画	2015/3 前期実績	差額	前期比
枚 葉 機	318	272	590	514	77	115%
輪転機・証券印刷機	78	130	208	161	48	130%
中古機・部品修理	88	98	186	184	2	101%
そ の 他	33	52	85	57	28	150%
合 計	517	553	1,070	916	154	117%

地域別売上高 予想

(単位:億円)

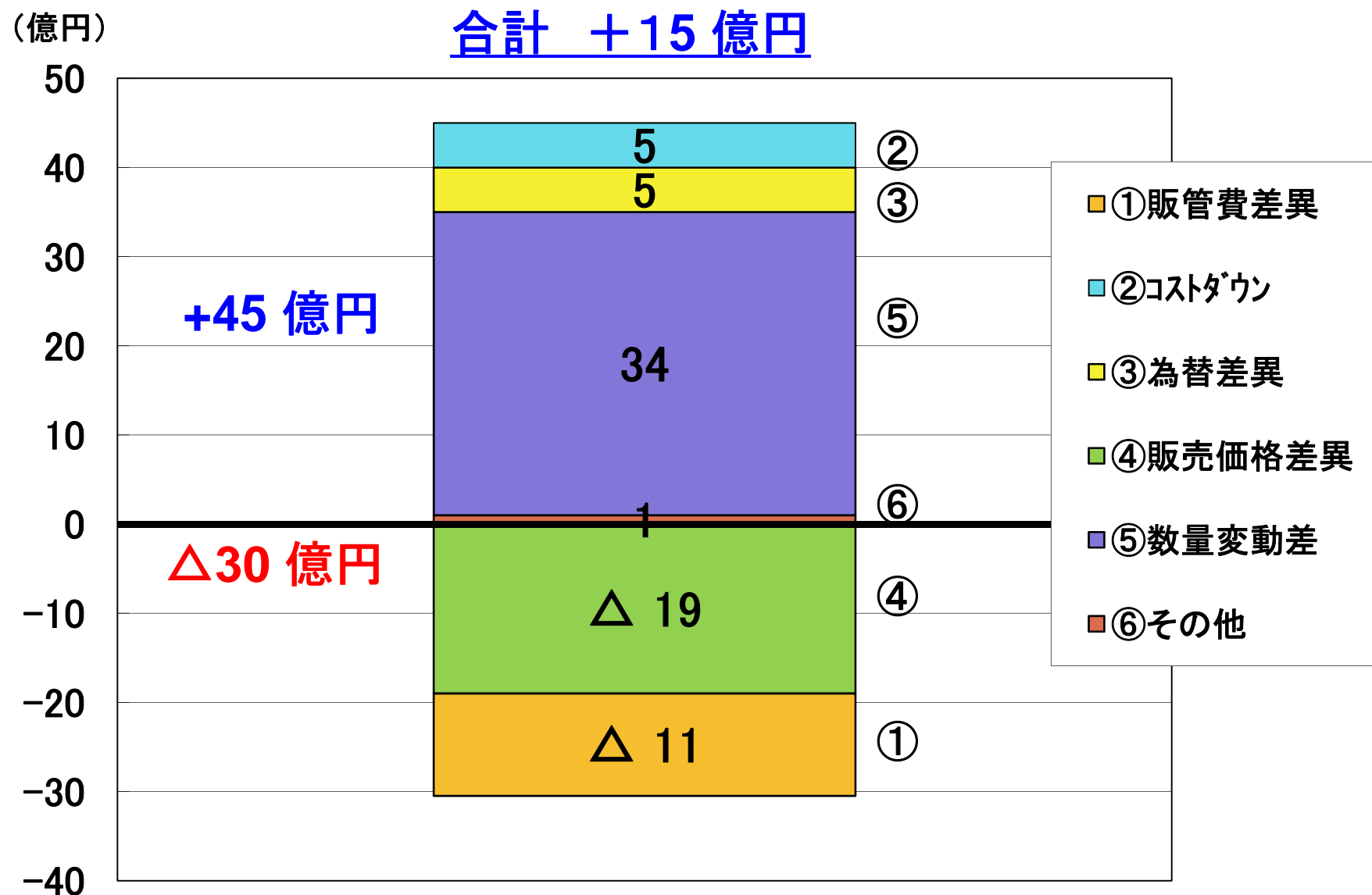
	2016/3 上期実績	<2Q修正> 2016/3 下期計画	<2Q修正> 2016/3 通期計画	2015/3 前期実績	差額	前期比
日 本	158	253	412	354	57	116%
北 米	60	90	150	118	32	127%
(百万ドル)	(50)	(74)	(124)	(107)	(17)	(116%)
欧 州	93	82	175	165	10	106%
(百万ユーロ)	(69)	(63)	(132)	(119)	(13)	(111%)
中 華 圏	77	91	168	155	13	108%
そ の 他 地 域	44	82	126	121	5	104%
合 計	433	597	1,030	913	117	113%

品目別売上高 予想

(単位:億円)

	2016/3 上期実績	<2Q修正> 2016/3 下期計画	<2Q修正> 2016/3 通期計画	2015/3 前期実績	差額	前期比
枚 葉 機	270	333	603	522	81	116%
輪転機・証券印刷機	40	120	159	160	0	100%
中古機・部品修理	87	98	185	171	14	108%
そ の 他	36	47	83	60	22	137%
合 計	433	597	1,030	913	118	113%

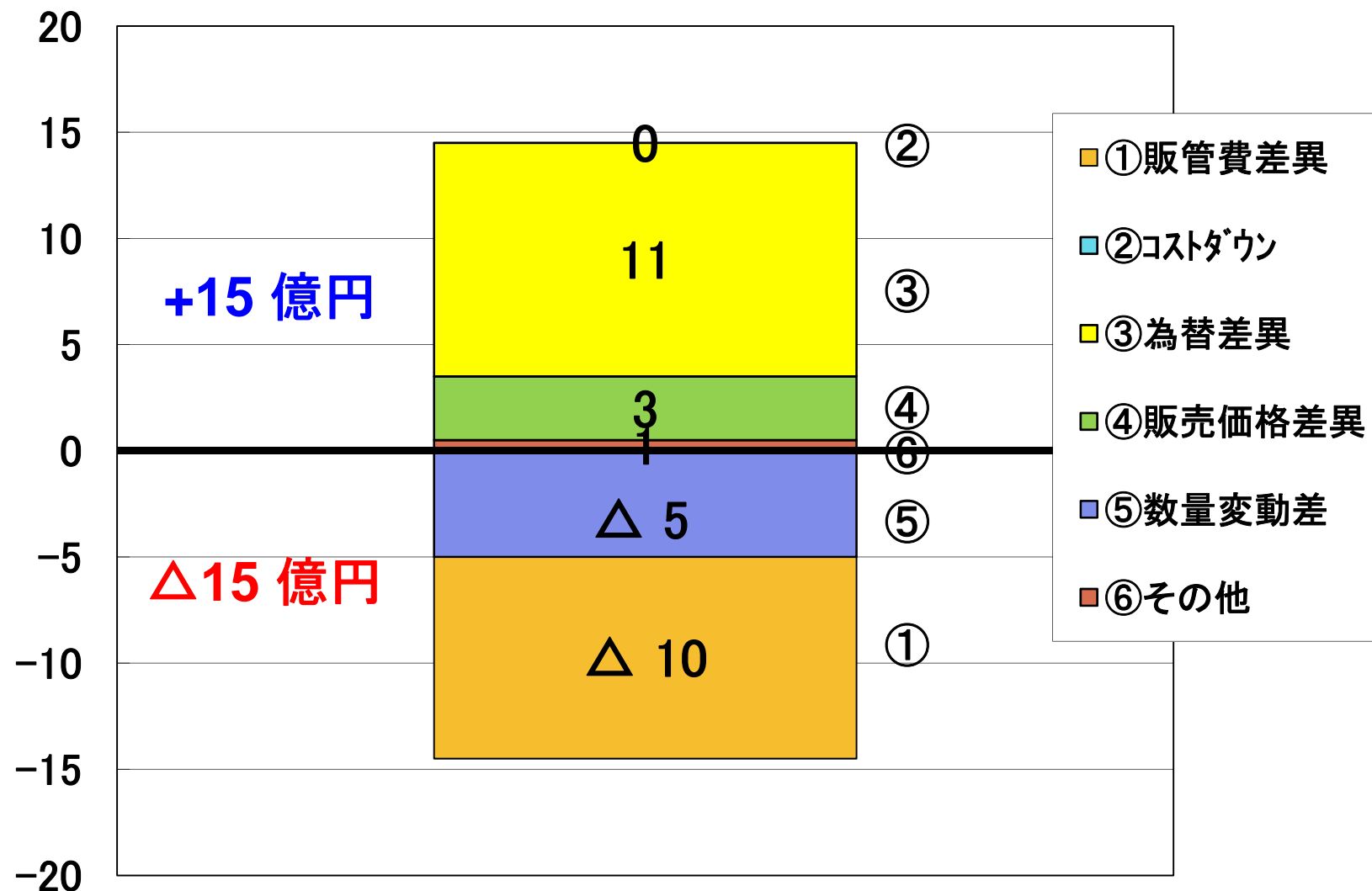
通期営業損益(予想)の変動要因(対 前期比)



通期営業損益(予想)の変動要因(対 期初計画比)

(億円)

合計 0 億円



設備投資・減価償却費・開発費

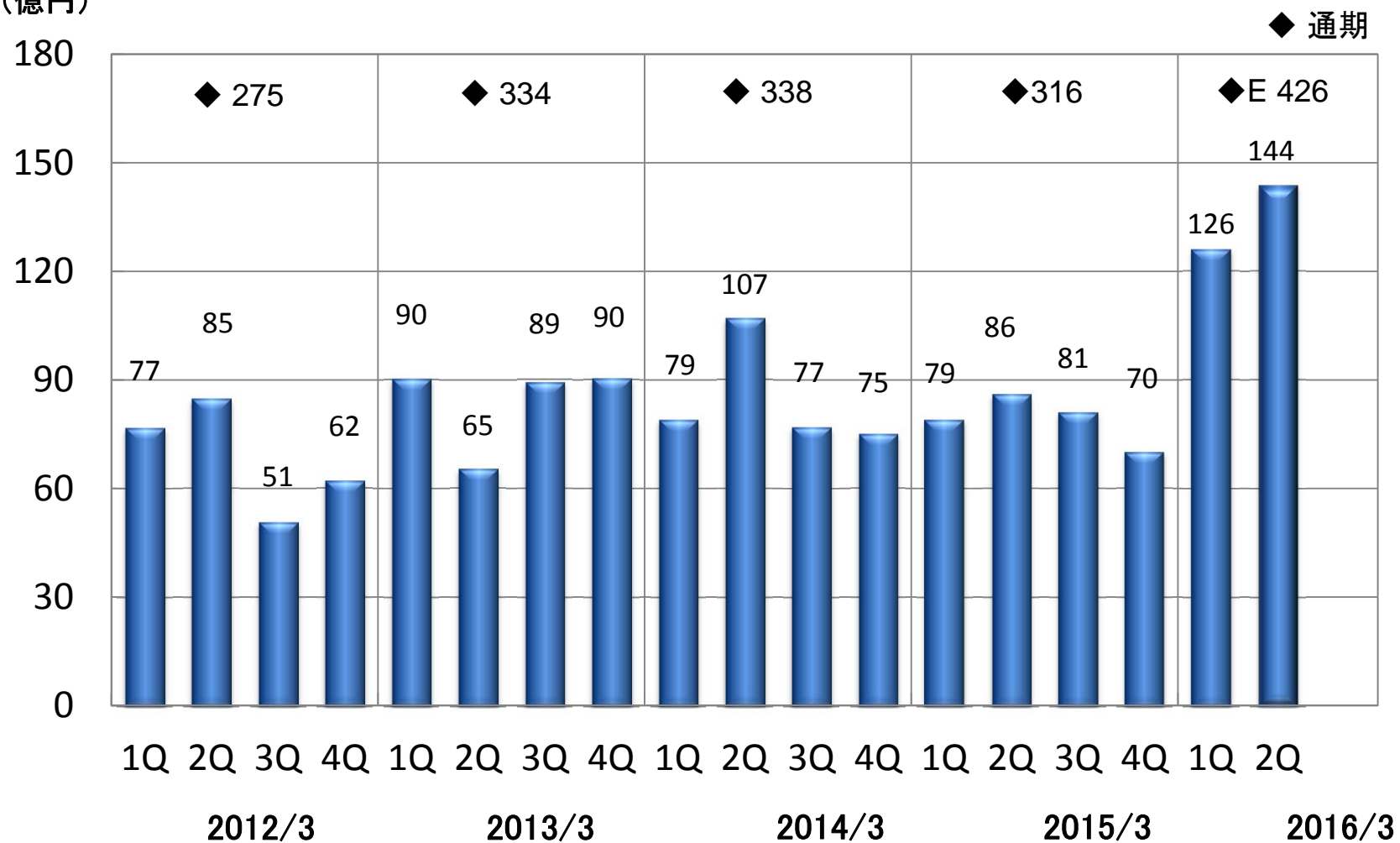
(単位:百万円)

	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3 上期	2015/3	2016/3 上期	2016/3 予想
従業員数(名)	2,104	1,814	1,784	2,099	2,106	2,192	2,200
人件費	16,757	14,892	16,972	9,401	19,796	10,393	20,800
設備投資額	692	1,881	1,367	997	2,116	1,917	3,600
減価償却費	2,849	2,251	2,172	883	1,860	968	2,000
研究開発費	4,830	3,806	4,184	2,366	5,123	2,415	4,700
(売上高比)	(6.7%)	(5.5%)	(4.6%)	(5.9%)	(5.6%)	(5.6%)	(4.6%)

参考資料
(地域別受注高・売上高 詳細)

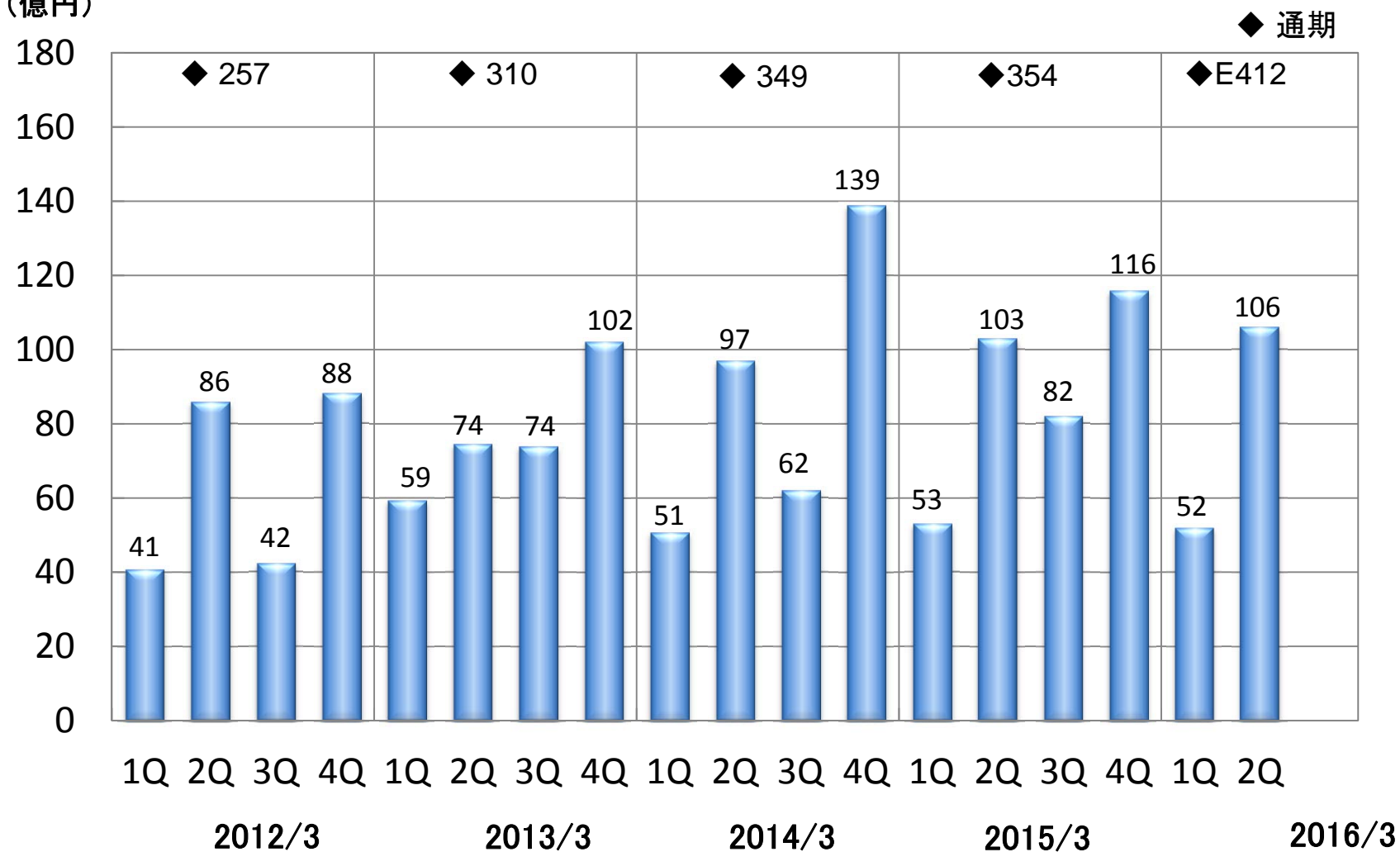
日本 受注高

(億円)



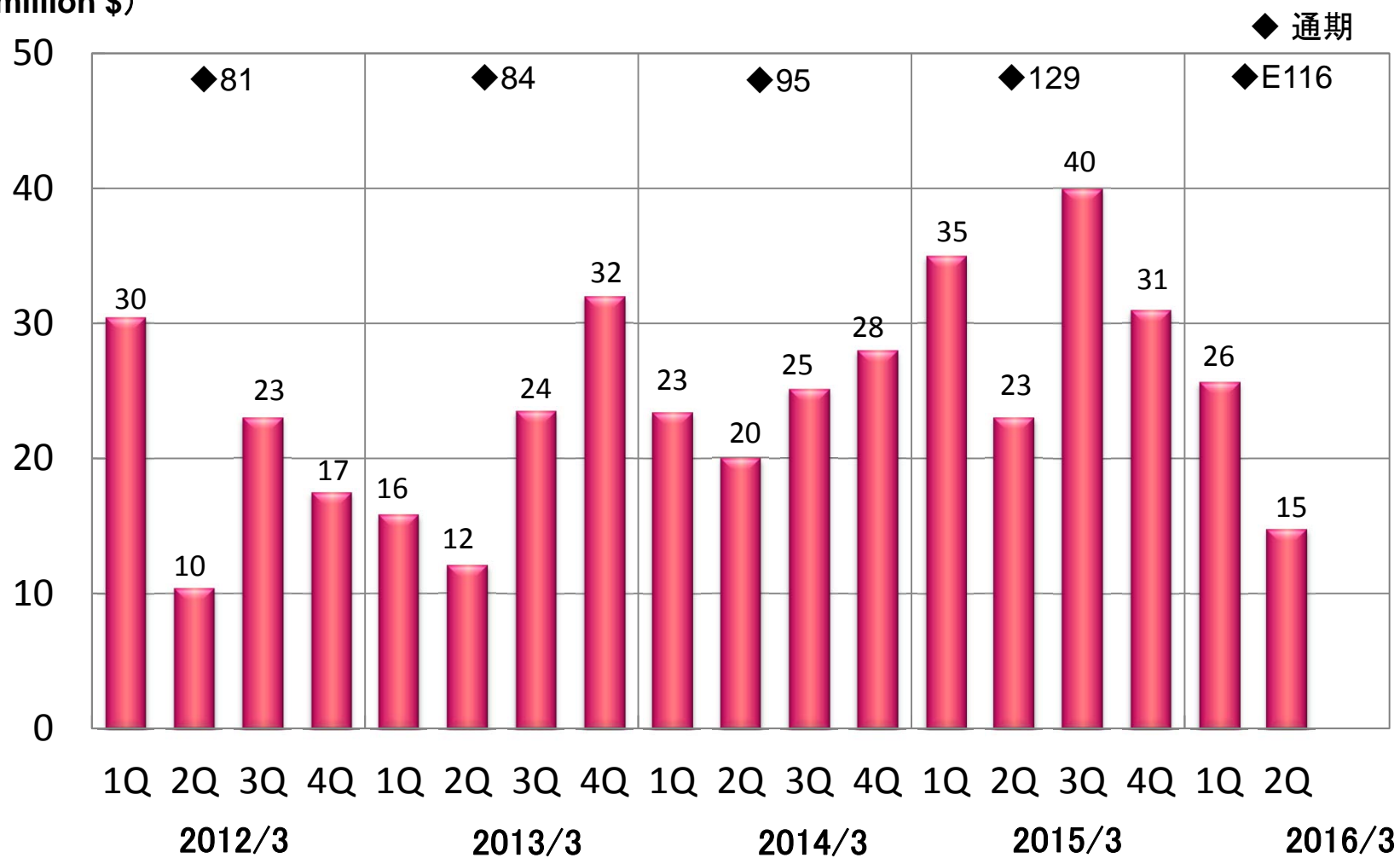
日本売上高

(億円)



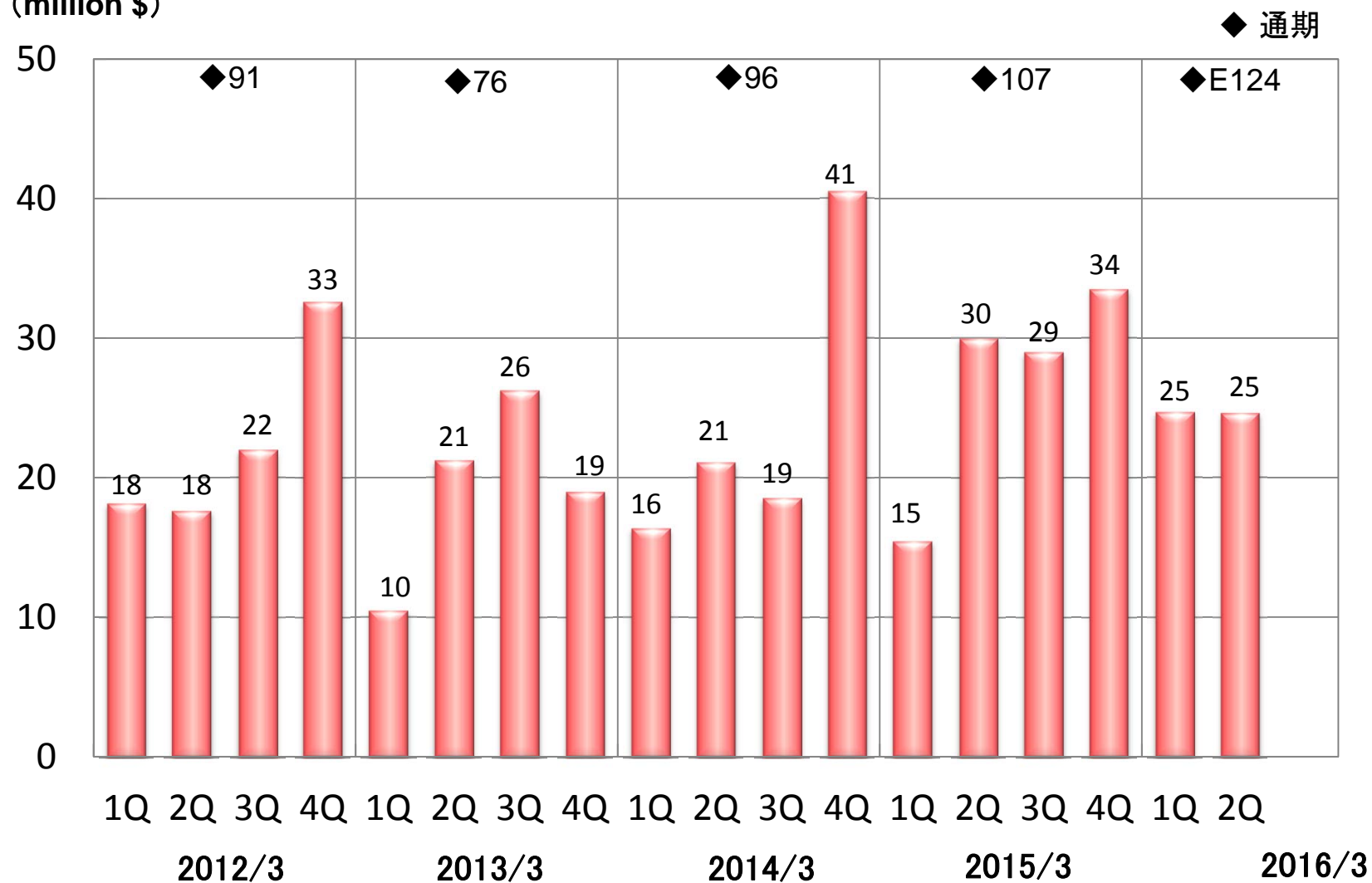
北米 受注高

(million \$)



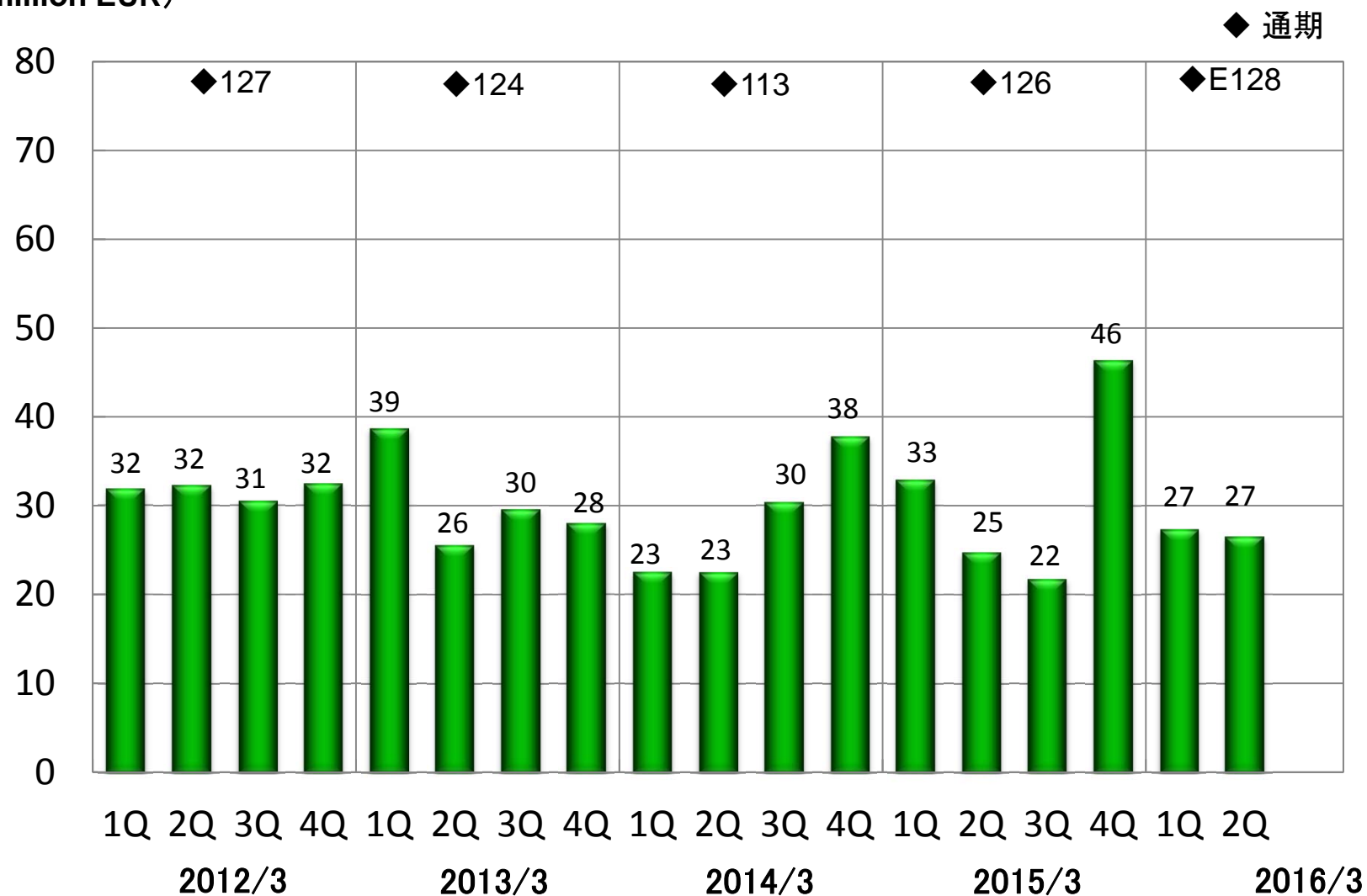
北米売上高

(million \$)



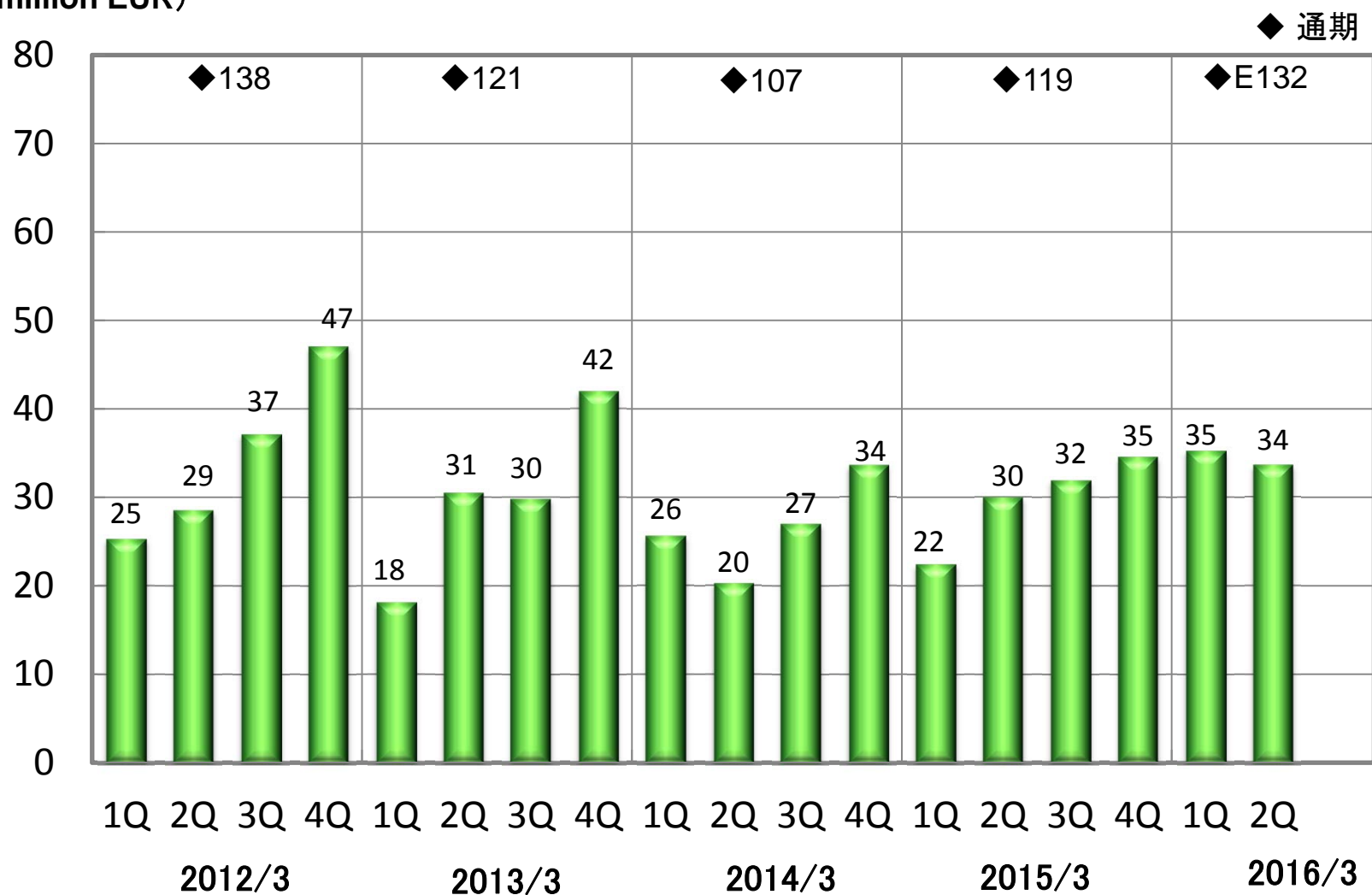
欧州 受注高

(million EUR)



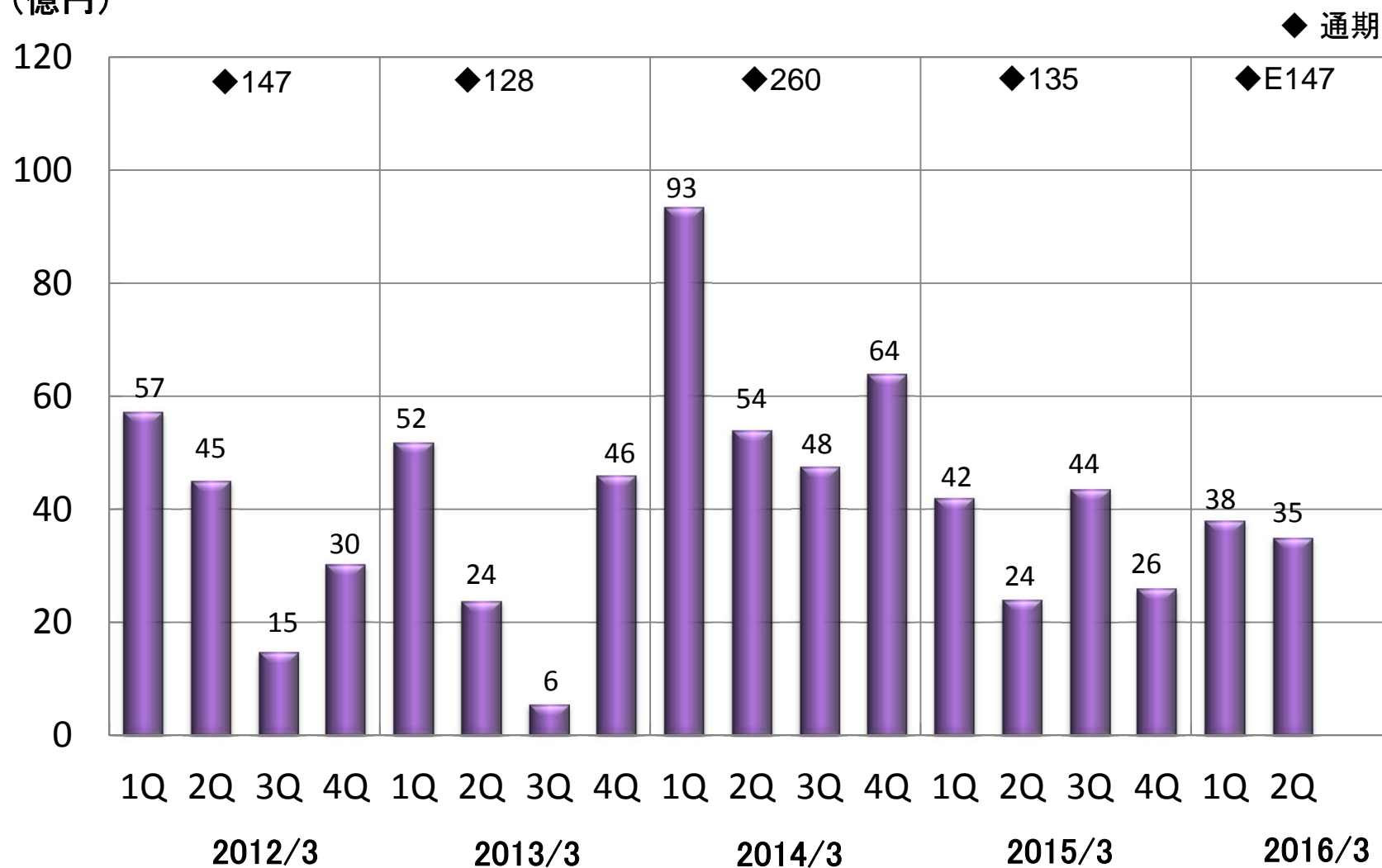
欧州 売上高

(million EUR)



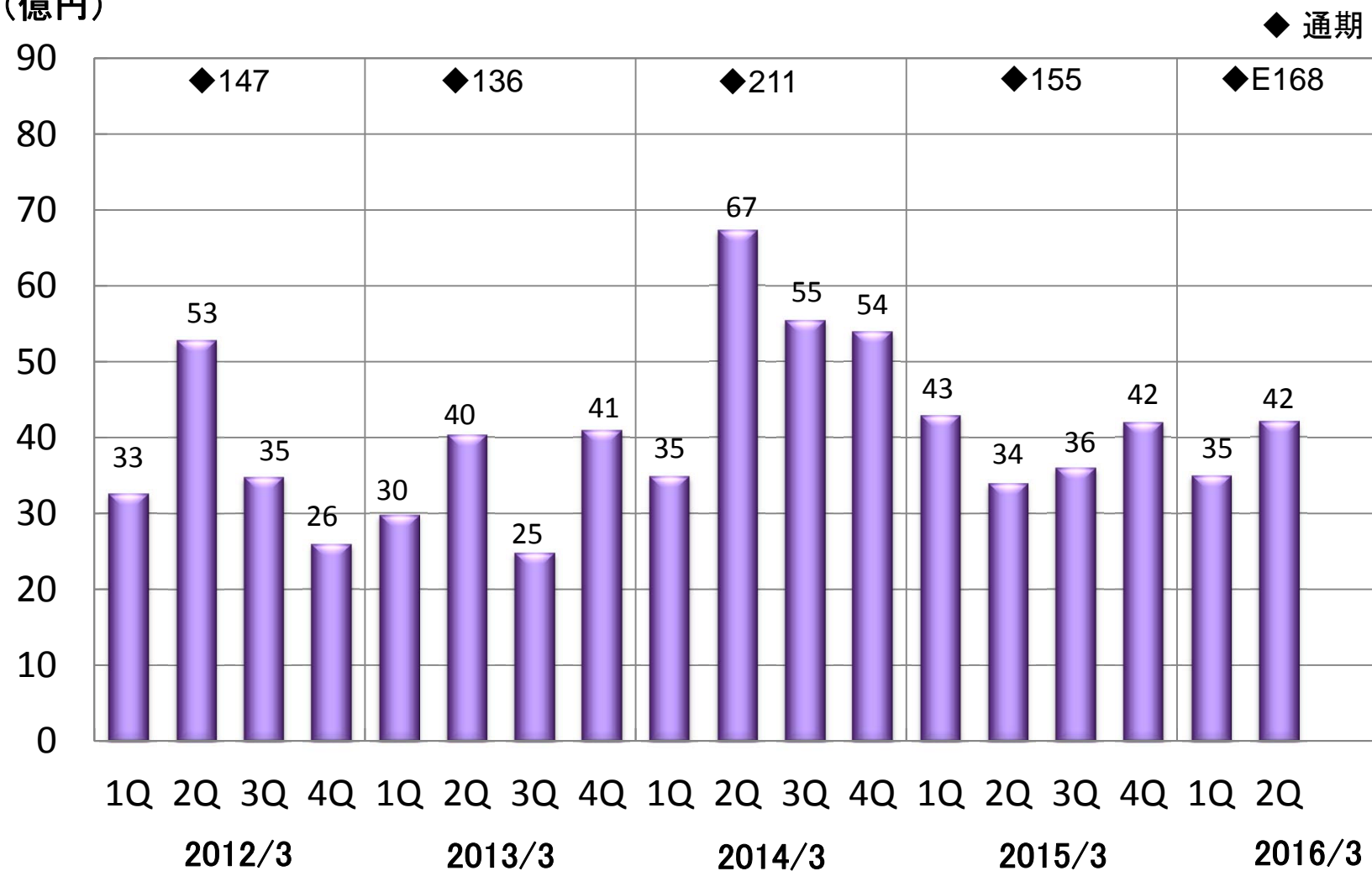
中華圏 受注高

(億円)



中華圏 売上高

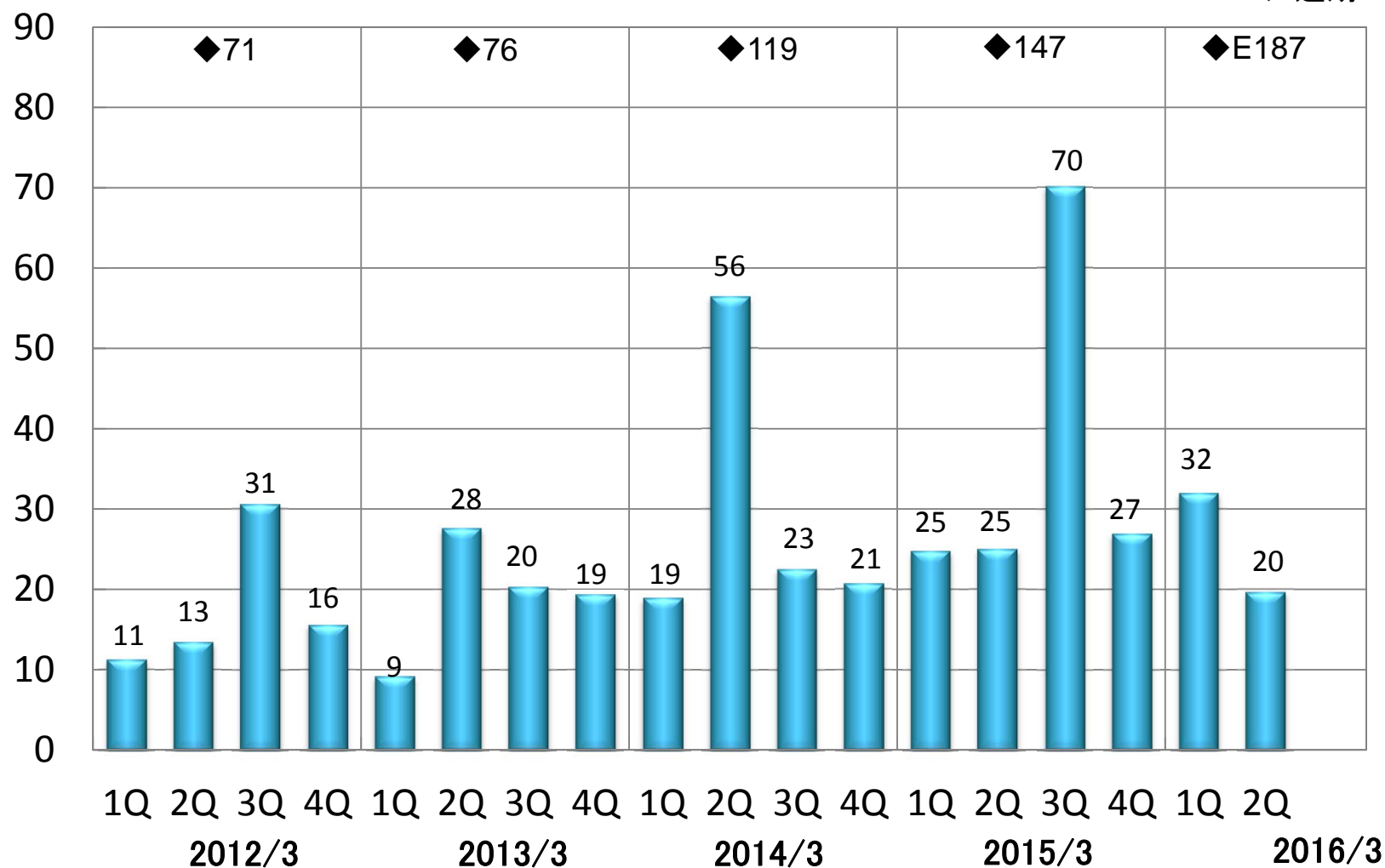
(億円)



その他地域 受注高

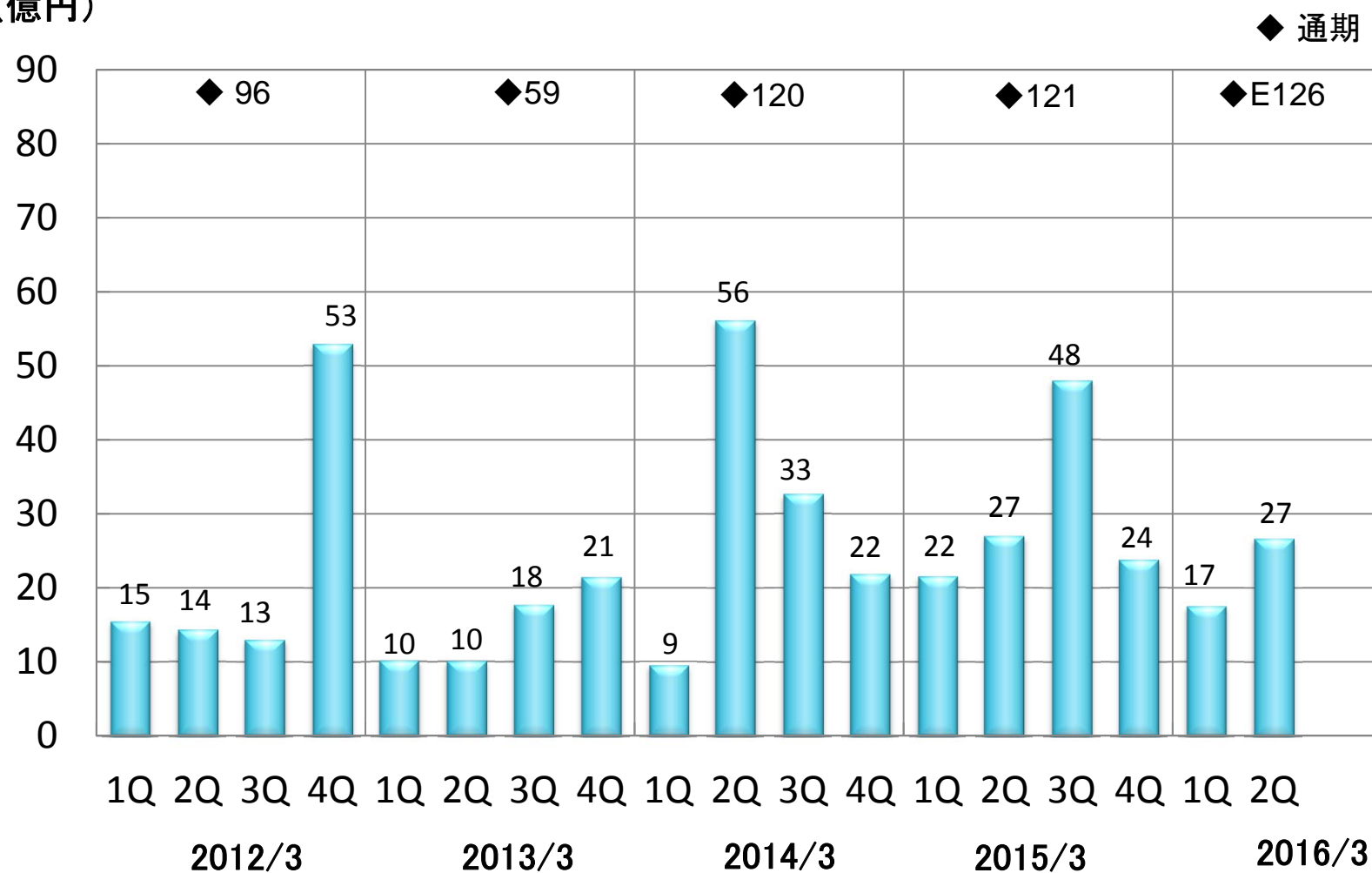
(億円)

◆ 通期



その他地域 売上高

(億円)





- ※ 当資料に含まれている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- ※ 当資料では、表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。